

大和郡山市 子ども・子育て支援新制度における  
ニーズ調査

【結果報告書】

平成 25 年 12 月

大和郡山市

# 目 次

---

I. 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	2
2 調査概要.....	2
3 報告書の見方.....	2
II. 調査結果.....	3
1 お住まいの地域・ご家族の状況等について.....	4
2 子どもの育ちをめぐる環境について.....	8
3 保護者の就労状況について.....	18
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について(就学前児童).....	25
5 地域の子育て支援事業の利用状況について(就学前児童).....	31
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について(就学前児童).....	36
7 病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)(就学前児童).....	39
8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について(就学前児童).....	44
9 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	49
10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について(就学前児童).....	57
11 子どもの安全の確保について(小学生児童).....	66
12 大和郡山市での子育てや子育て支援サービスについて.....	68

## I. 調査の概要

---

# 1 調査の目的

大和郡山市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、早ければ平成 27 年度から計画的に給付・事業の整備を実施する予定です。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために実施しました。

# 2 調査概要

- 調査地域：大和郡山市全域
- 調査対象者：大和郡山市在住の「就学前児童」をお持ちの世帯・保護者（就学前児童調査）  
大和郡山市内在住の「小学生」をお持ちの世帯・保護者（小学生児童調査）
- 抽出方法：住民基本台帳より、就学前児童 1,500 人、小学生 1,500 人の合計 3,000 人を無作為抽出
- 調査期間：平成 25 年 10 月 21 日（月）～平成 25 年 11 月 4 日（月）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による郵送調査法

調査票	調査対象者数 (配布数)	回収数	回収率
就学前児童	1,500	713	47.5%
小学生児童	1,500	754	50.2%
合計	3,000	1,467	48.9%

※回収数および回収率には無効票（就学前児童 11、小学生児童 14）を含んでいます。

# 3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

## Ⅱ. 調査結果

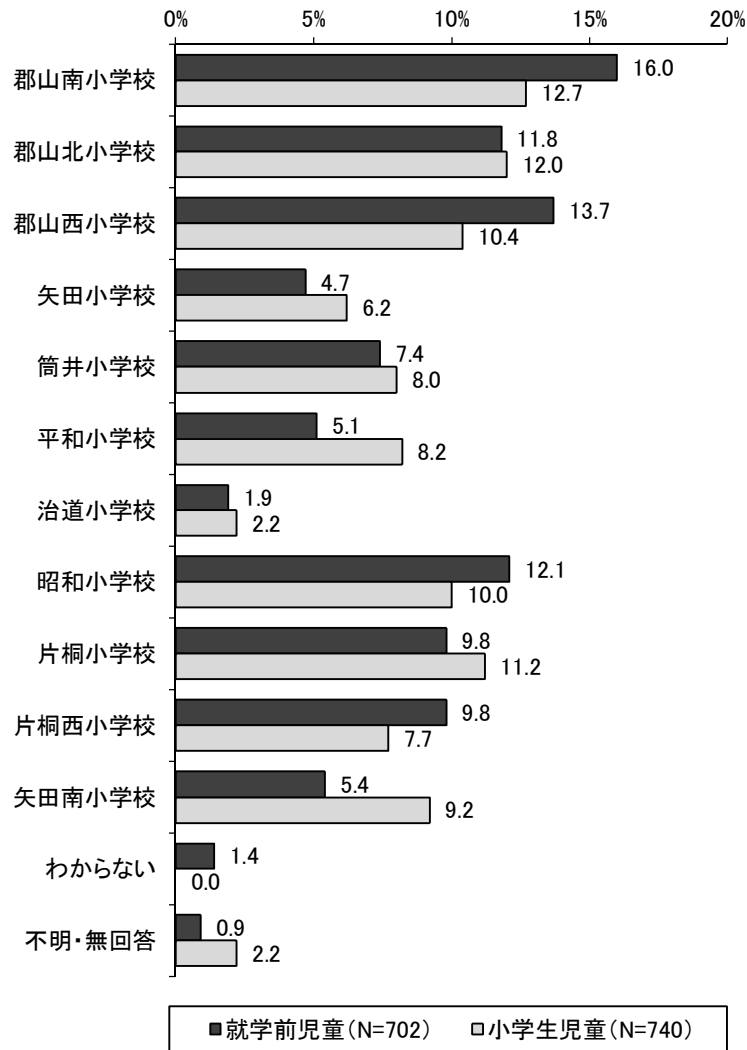
---

(就学前児童調査・小学生児童調査)

# 1 お住まいの地域・ご家族の状況等について

## (1) 小学校区〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問1〕

小学校区についてみると、就学前児童では「郡山南小学校」が就学前児童で16.0%、小学生児童で12.7%と最も高くなっています。



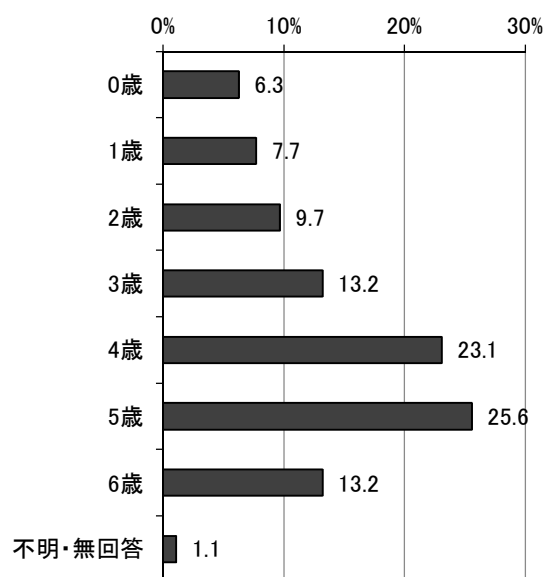
## (2) 対象の子どもの生年月〈数量回答〉(平成25年度末時点)

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問2〕

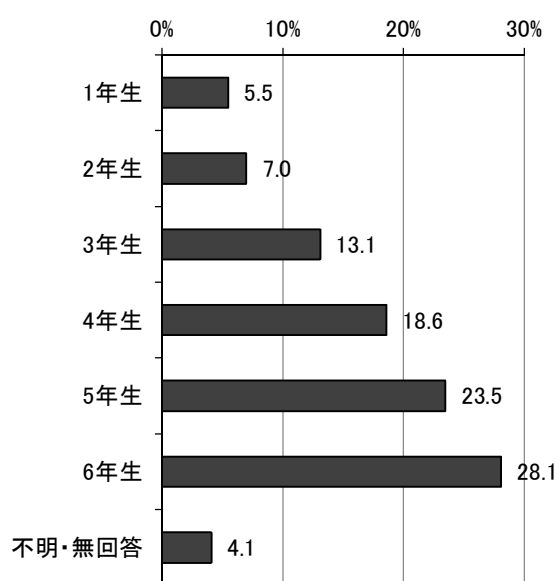
就学前児童の年齢についてみると、5歳が25.6%、4歳が23.1%、3歳が13.2%となっています。

小学生児童の学年についてみると、6年生が28.1%、5年生が23.5%、3年生が18.6%となっています。

就学前児童(N=702)



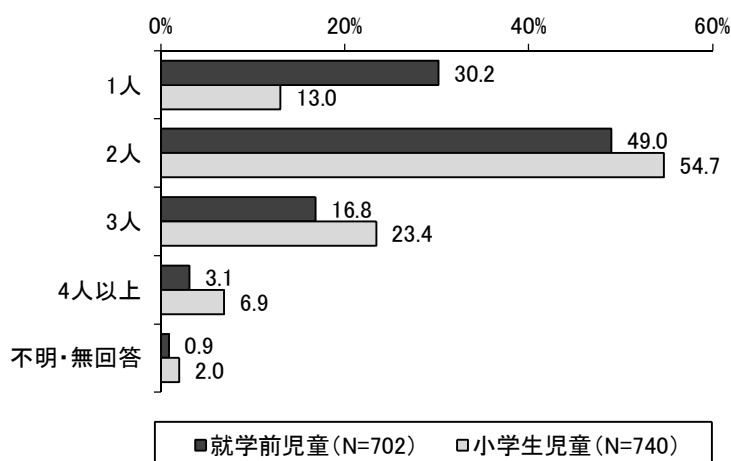
小学生児童(N=740)



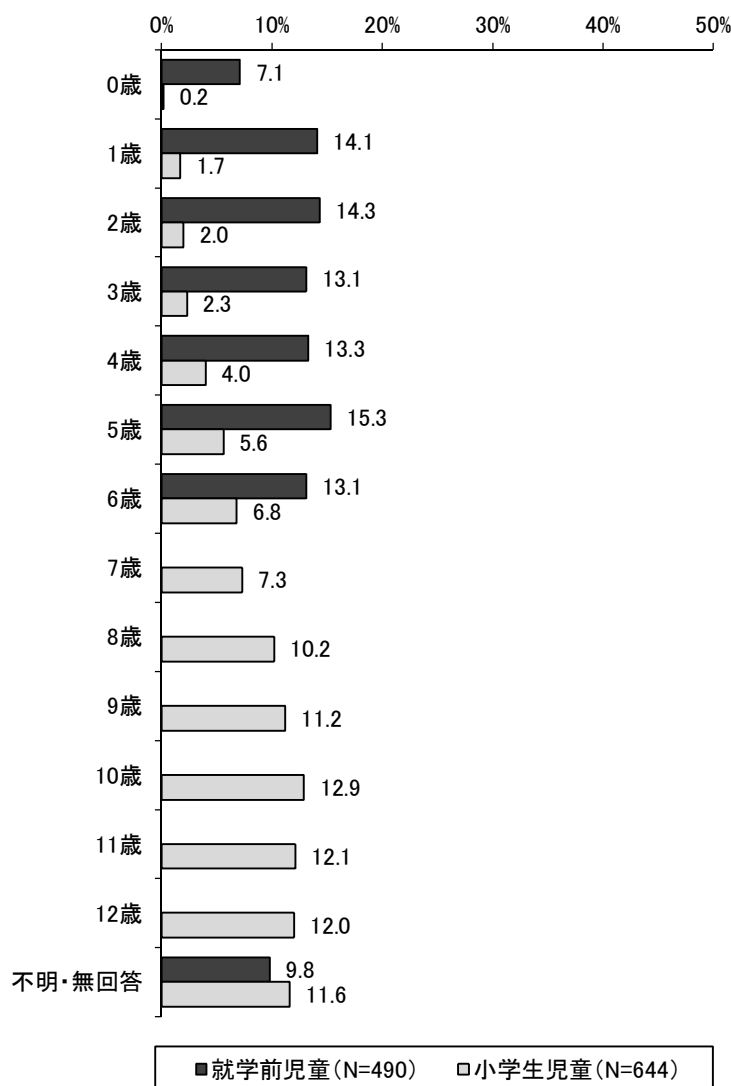
### （3）子どもの人数〈数量回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問3〕

子どもの人数についてみると、「2人」が就学前児童で 49.0%、小学生児童では 54.7%と最も高くなっています。次いで、就学前児童では「1人」が 30.2%、小学生児童では「3人」が 23.4%となっています。

子どもが2人以上いる場合の末子の年齢についてみると、就学前児童では「1歳」から「6歳」までが1割以上となっており、小学生児童では「8歳」から「12歳」が1割以上となっています。



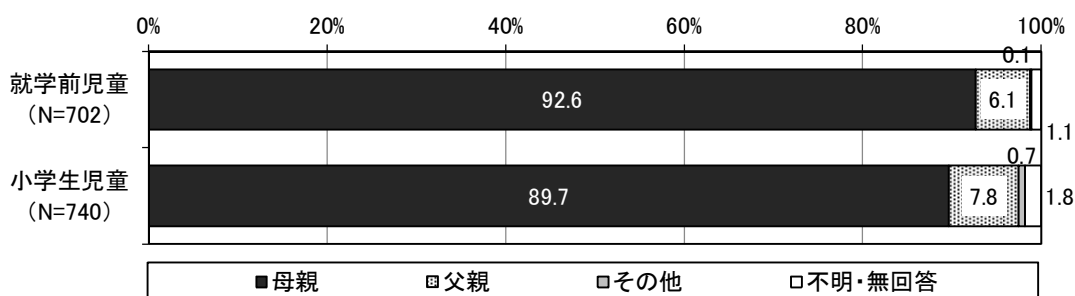
### ◎子どもが2人以上いる場合の末子の年齢〈数量回答〉





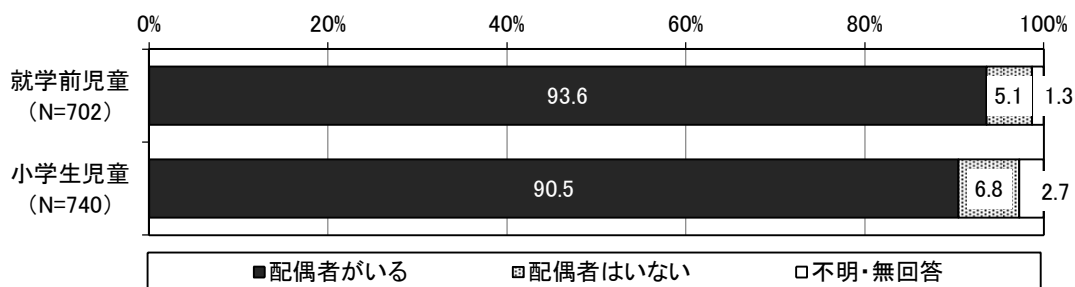
#### (4) 調査票の回答者〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問4〕

回答者についてみると、「母親」が就学前児童で92.6%、小学生児童で89.7%と最も高く、大部分を占めています。



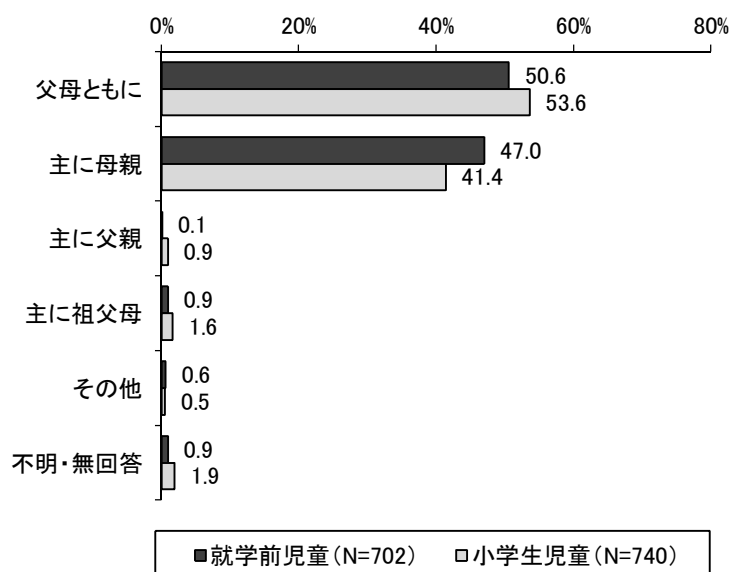
#### (5) 調査票の回答者の配偶関係の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問5〕

回答者の配偶関係の有無についてみると、「配偶者がいる」が就学前児童で93.6%、小学生児童で90.5%となっています。



#### (6) 子育てを主に行っている方〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問6〕

子育てを主に行っている方についてみると、「父母ともに」が就学前児童で50.6%、小学生児童で53.6%と最も高く、次いで、「主に母親」が就学前児童で47.0%、小学生児童で41.4%となっています。



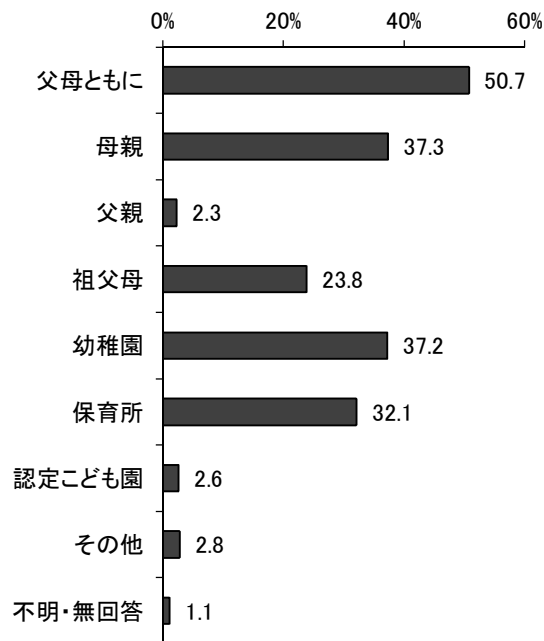
## 2 子どもの育ちをめぐる環境について

### (1) 子育てに日常的に関わっている方(施設)〈複数回答〉

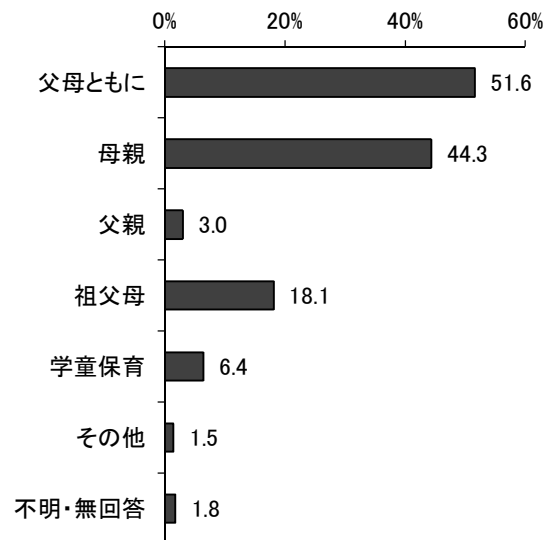
〔就学前児童調査・小学生児童調査…問7〕

子育てに日常的に関わっている方(施設)についてみると、「父母ともに」が就学前児童で50.7%、小学生児童で51.6%と最も高くなっています。次いで、「母親」が就学前児童で37.3%、小学生児童が44.3%となっています。

就学前児童(N=702)



小学生児童(N=740)

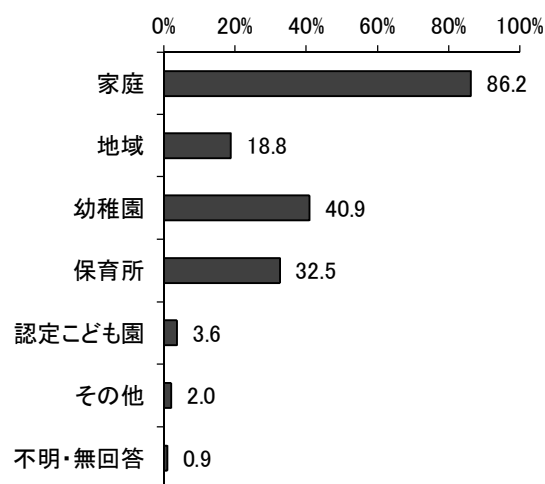


## (2) 子育てや教育に影響すると思われる環境〈複数回答〉

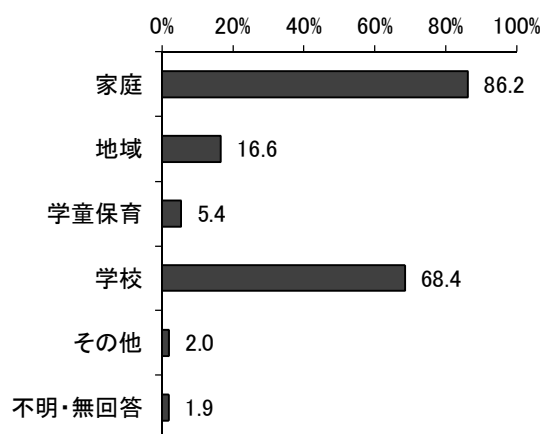
〔就学前児童調査・小学生児童調査…問8〕

子育てや教育に影響すると思われる環境についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「家庭」が最も高く、86.2%となっています。次いで、就学前児童では「幼稚園」が40.9%、小学生児童では「学校」が68.4%となっています。

就学前児童(N=702)



小学生児童(N=740)

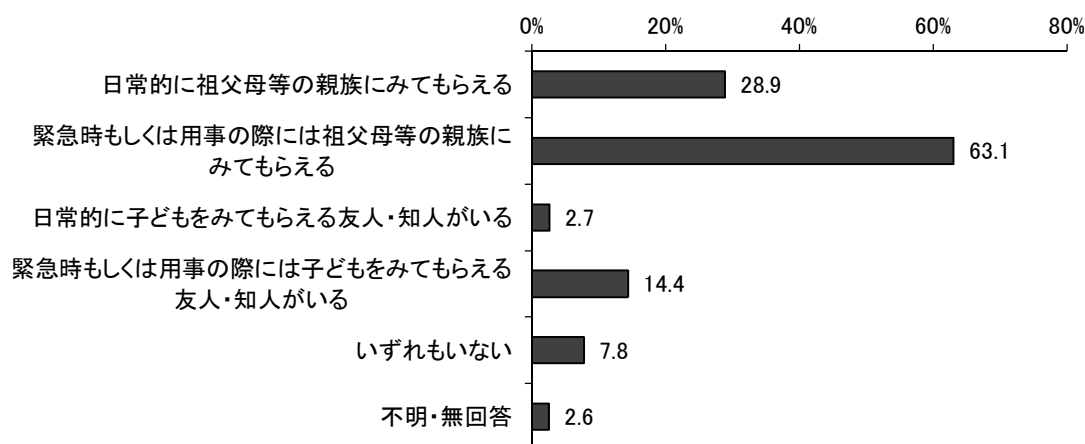


## (3) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問9〕

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無についてみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が63.1%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が28.9%となっています。

就学前児童(N=702)



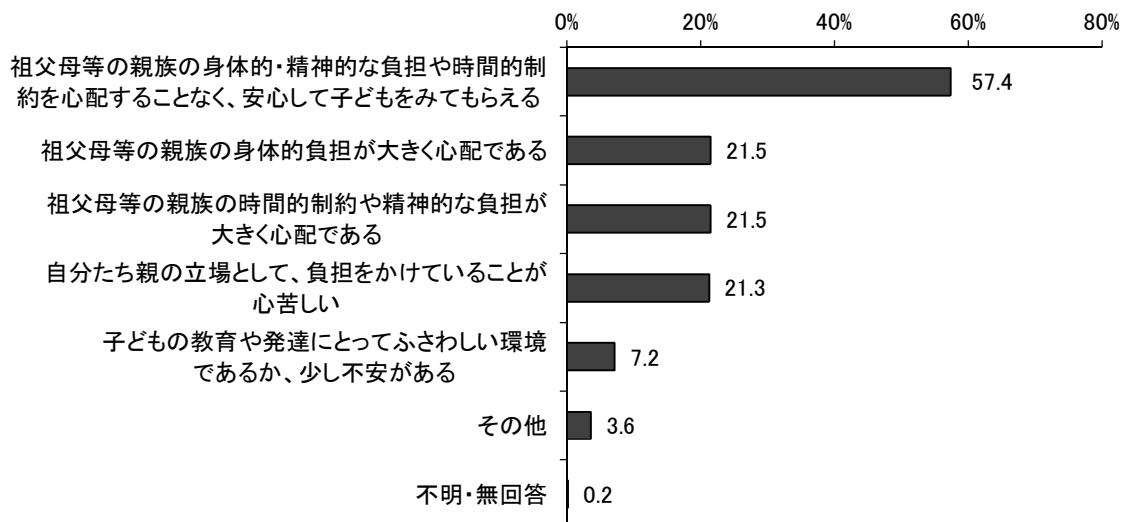
**(3)で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方**

**(3)－1 祖父母等の親族にみてもらっている状況〈複数回答〉**

〔就学前児童調査…問9－1〕

祖父母等の親族にみてもらっている状況についてみると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が57.4%、次いで、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が21.5%となっています。

就学前児童(N=610)



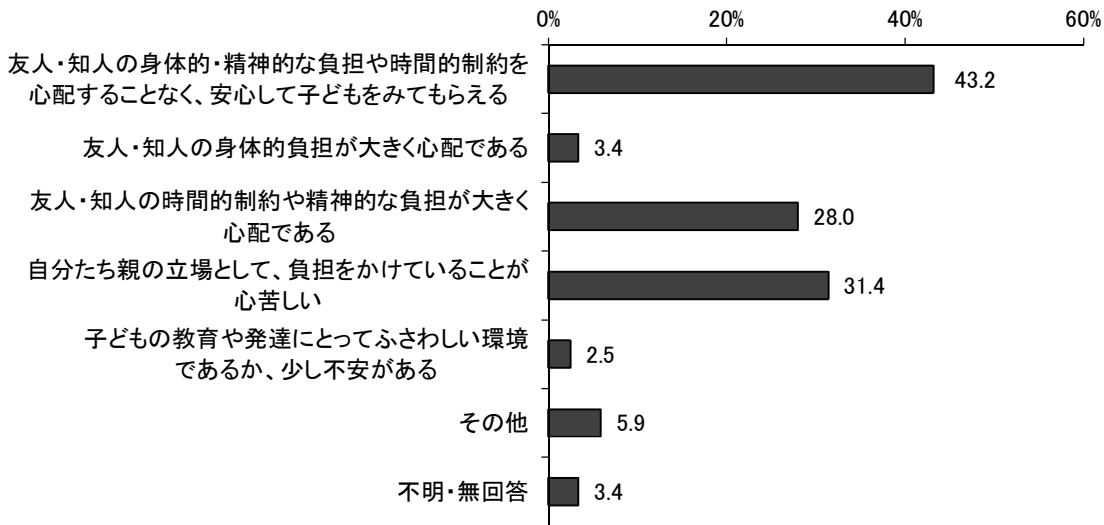
(3)で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ方

### (3) - 2 友人・知人にみてもらっている状況〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問9-2〕

友人・知人にみてもらっている状況についてみると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が43.2%と最も高く、次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が就学前児童で31.4%となっています。

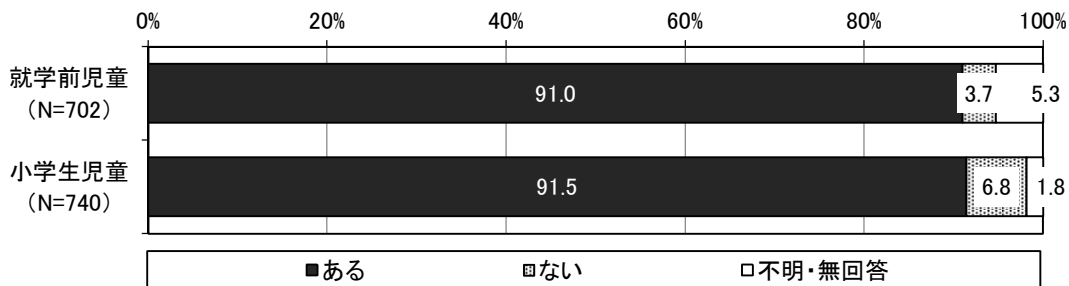
就学前児童 (N=118)



### (4) 子育てをする上での相談相手や相談できる場所の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問10・小学生児童調査…問9〕

子育てをする上での相談相手（場所）の有無についてみると、「ある」が就学前児童で91.0%、小学生児童で91.5%となっています。



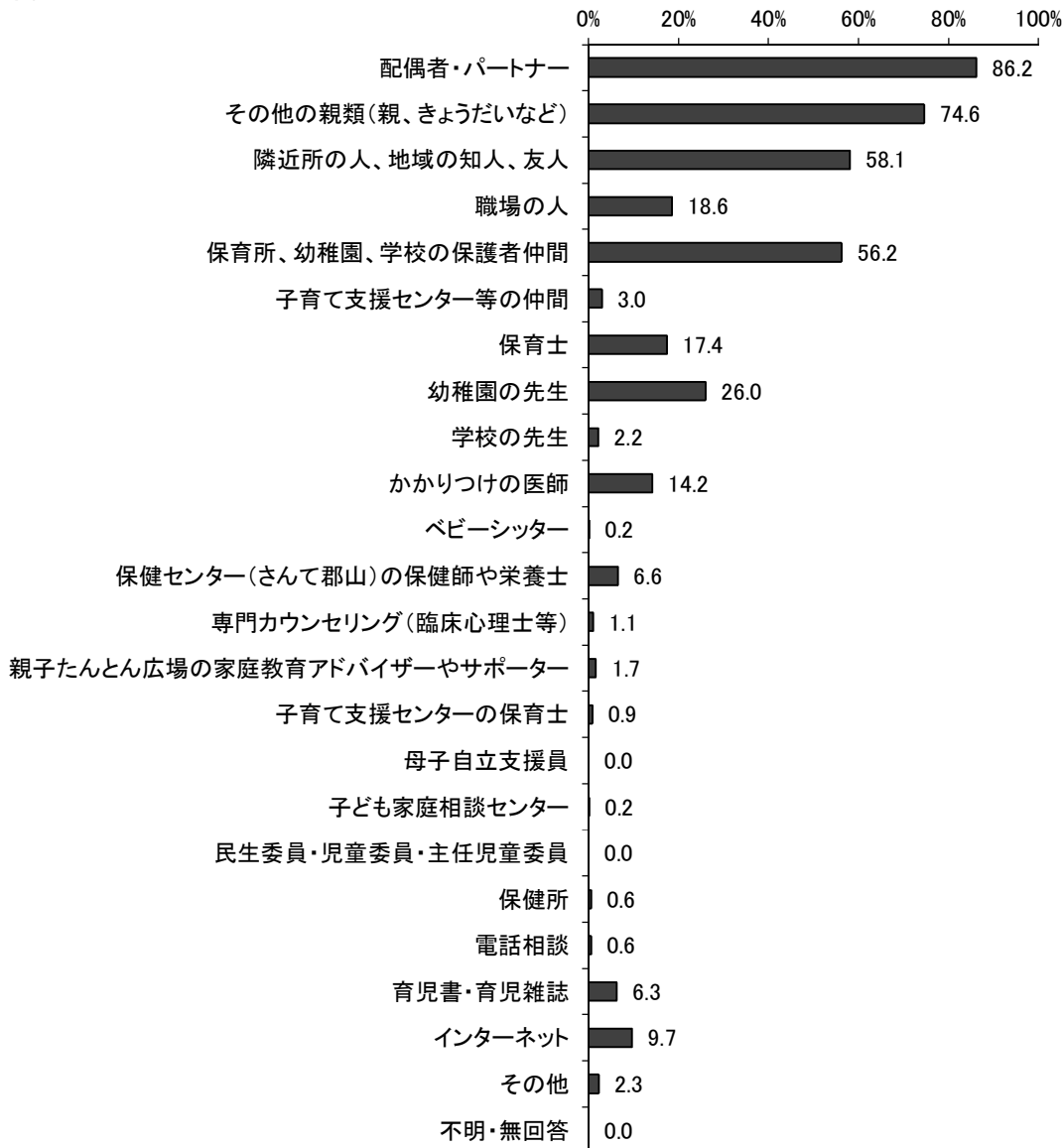
(4)で「ある」を選んだ方

(4)－1 子育てをする上で、周囲からあればよいと思うサポート〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問10-1・小学生児童調査…問9-1〕

子育てをする上で、周囲からあればよいと思うサポートについてみると、「配偶者・パートナー」が就学前児童で86.2%、小学生児童で83.5%と最も高くなっています。次いで「その他の親類(親、きょうだいなど)」が就学前児童で74.6%、小学生児童で68.5%となっています。

就学前児童(N=639)



小学生児童(N=677)

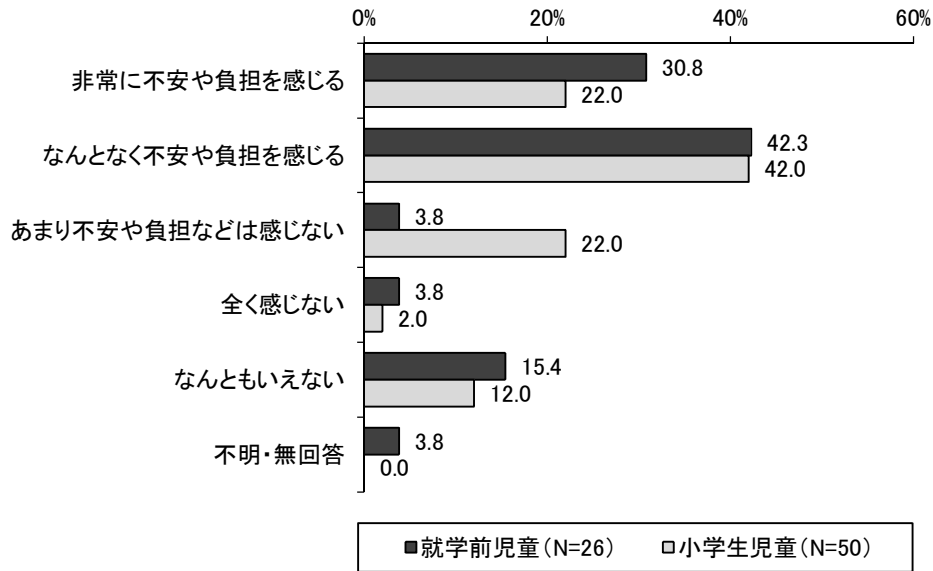


(4)で「ない」を選んだ方

(4)－2 子育てに対する負担感や不安感〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 10-2・小学生児童調査…問9-2〕

子育てに対する負担感や不安感についてみると、「なんとなく不安や負担を感じる」が就学前児童で 42.3%、小学生児童で 42.0%と最も高くなっています。次いで就学前児童では「非常に不安や負担を感じる」が 30.8%、小学生児童では「非常に不安や負担を感じる」「あまり不安や負担などは感じない」が 22.0%となっています。



(5) 子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じるか。〈単数回答〉

また、特に誰に支えられていると感じるか。特に誰から支えてほしいと感じるか。

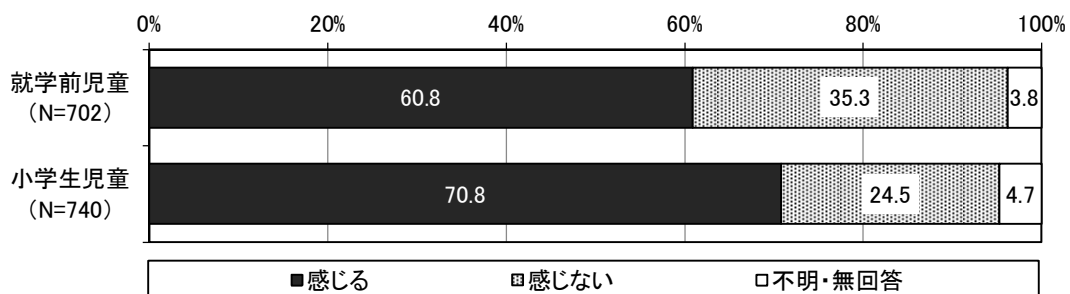
〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 11・小学生児童調査…問 10〕

子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じるかについては、「感じる」が就学前児童で 60.8%、小学生児童で 70.8%となっています。

特に誰に支えられていると感じるかについては、「近所の人」が就学前児童で 76.6%、小学生児童で 77.5%と最も高くなっています。

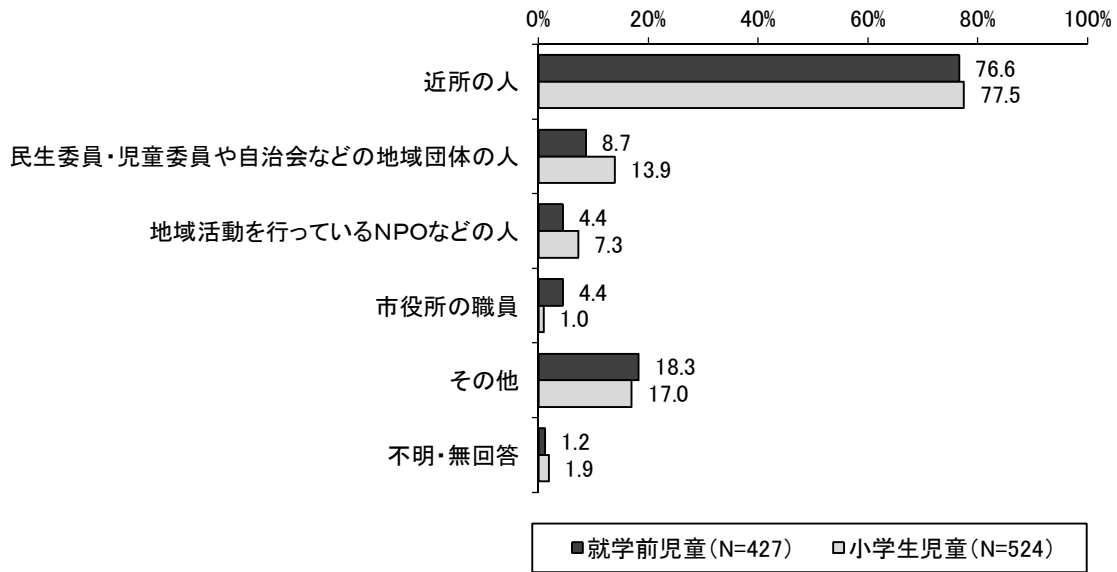
特に誰から支えてほしいと感じるかについては、「近所の人」が就学前児童で 29.4%、小学生児童で 24.3%と最も高くなっています。





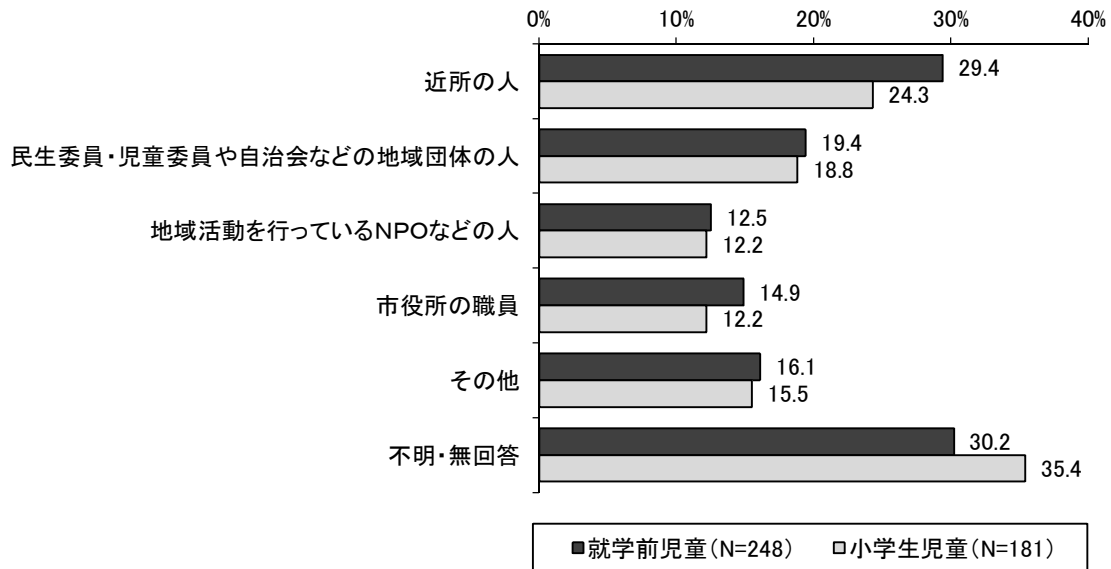
(5)で「感じる」を選んだ方

(5)-1 特に誰に支えられていると感じるか



(5)で「感じない」を選んだ方

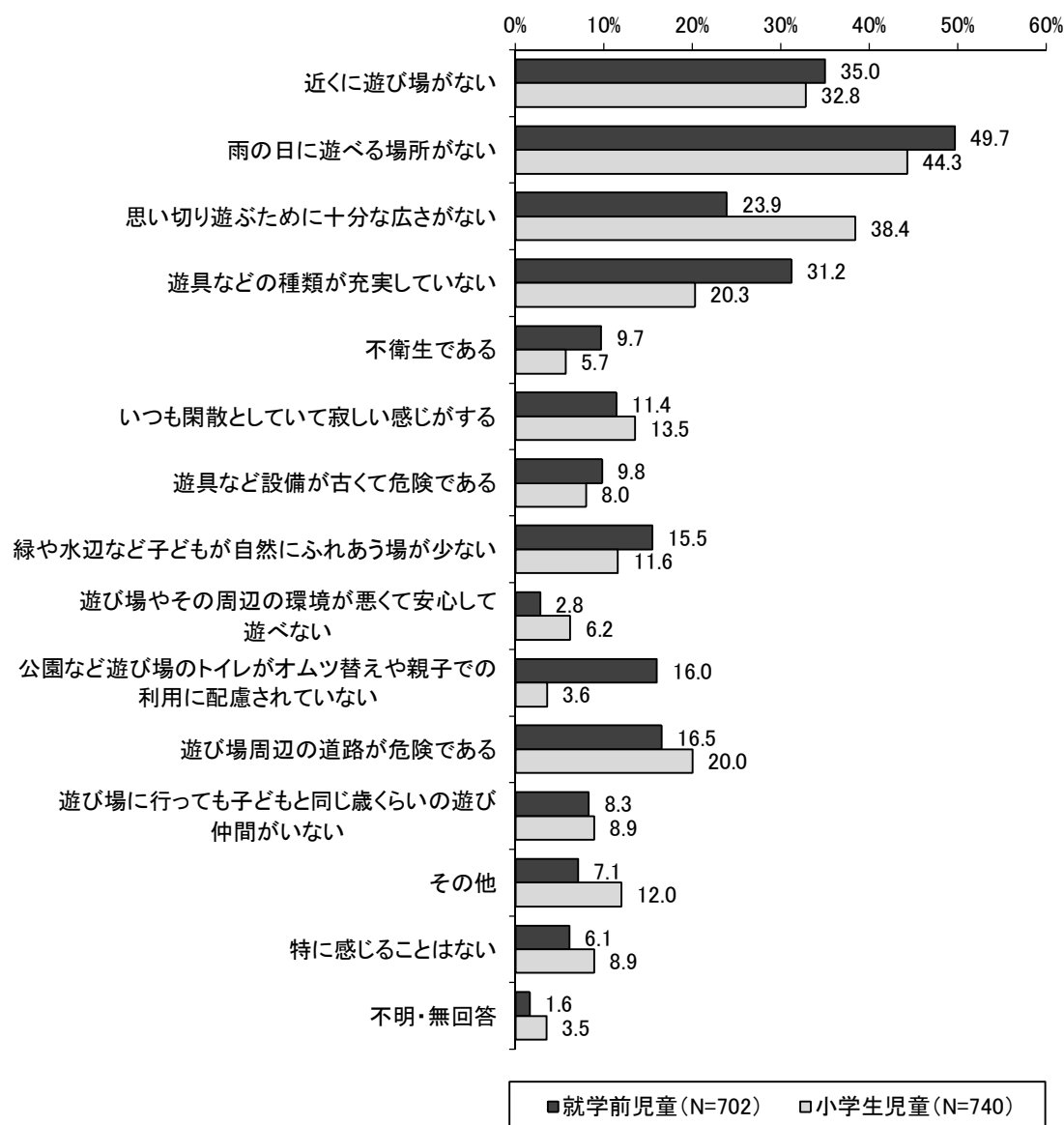
(5)-2 特に誰から支えてほしいと感じるか



## (6) 地域の子どもの遊び場について、日ごろ特に不満に感じていること〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 12・小学生児童調査…問 11〕

地域の子どもの遊び場について、日ごろ特に不満に感じていることについてみると、「雨の日に遊べる場所がない」が就学前児童で 49.7%、小学生児童で 44.3%と最も高く、次いで就学前児童では「近くに遊び場がない」が 35.0%、小学生児童では「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が 38.4%となっています。

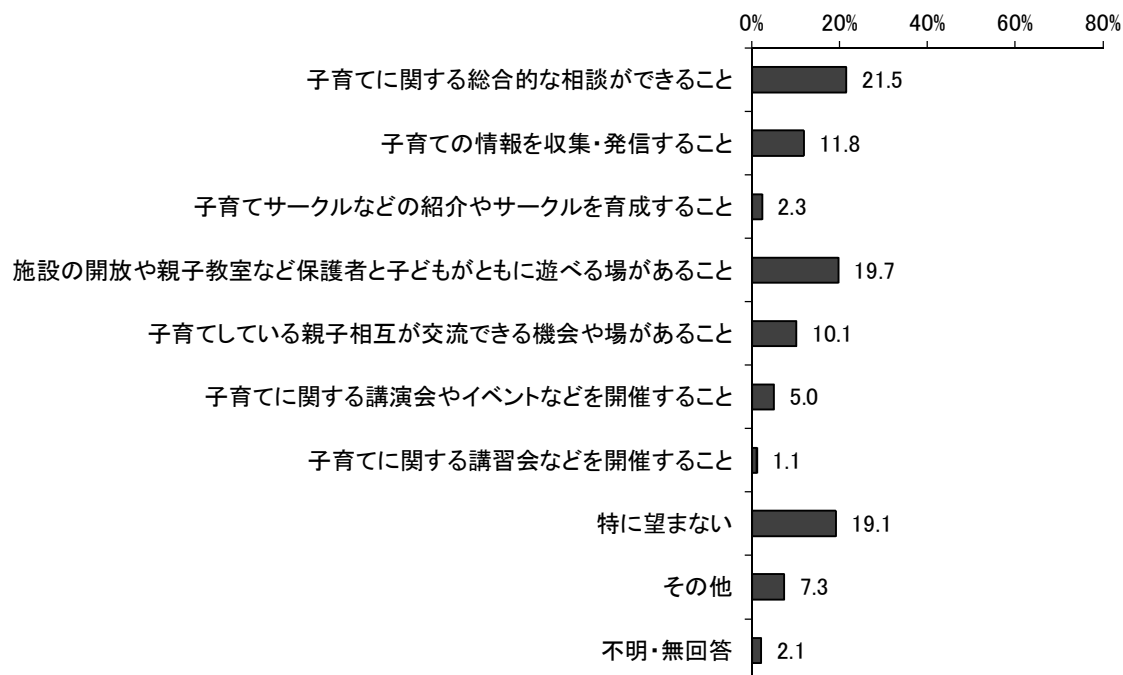


## (7) 地域子育て支援センターや親子たんとん広場に対して特にどのような事業が必要か。〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 13〕

地域子育て支援センターや親子たんとん広場に対して特にどのような事業が必要かについては、「子育てに関する総合的な相談ができること」が 21.5%と最も高く、次いで「施設の開放や親子教室など保護者と子どもがともに遊べる場があること」が 19.7%となっています。

就学前児童(N=702)

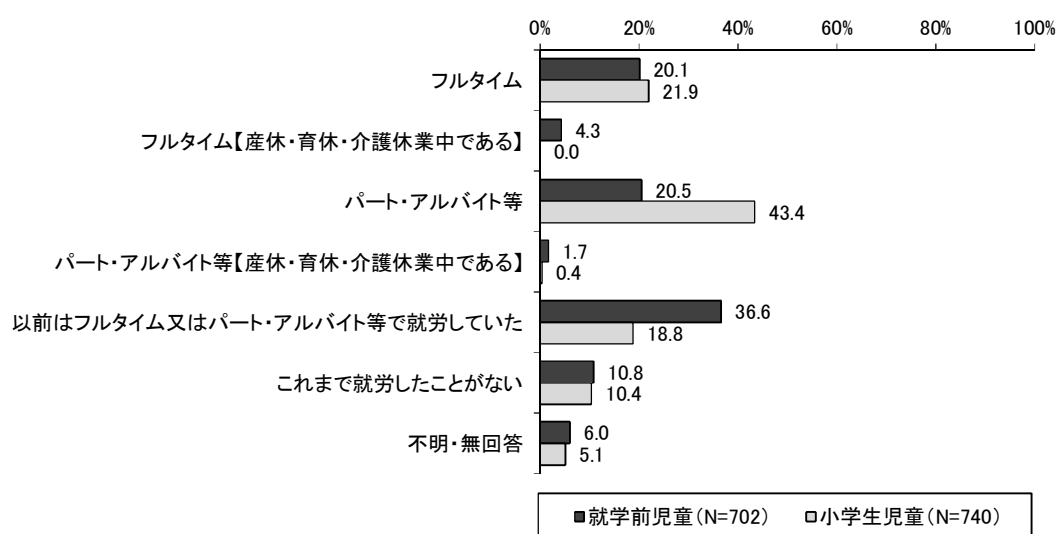


### 3 保護者の就労状況について

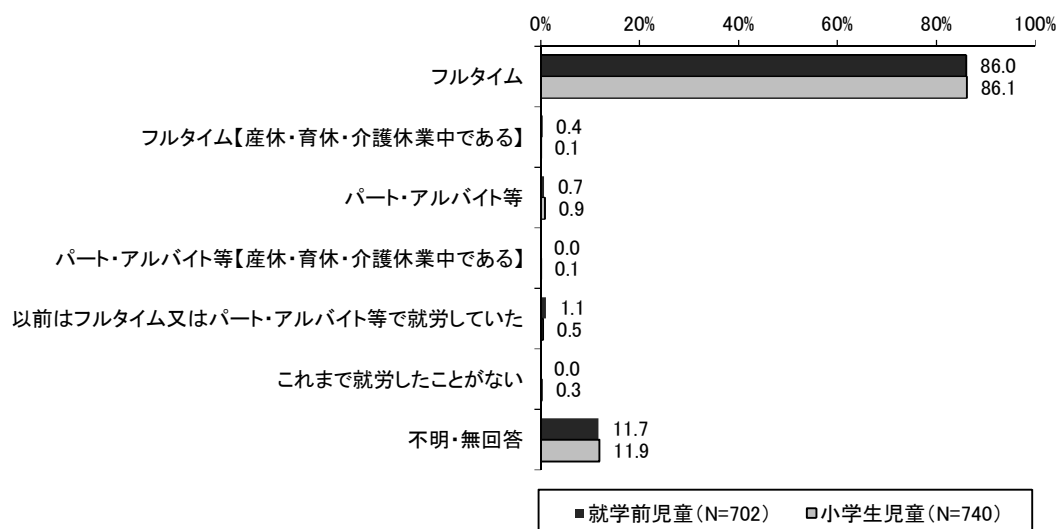
#### (1) 保護者の就労状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 14、小学生児童調査…問 12〕

保護者の就労状況についてみると、母親では「以前はフルタイム又はパート・アルバイト等で就労していた」が就学前児童で 36.6%、小学生児童では「パート・アルバイト等」が 43.4%と最も高くなっています。父親では「フルタイム」が就学前児童で 86.0%、小学生児童で 86.1%と最も高くなっています。

#### 【母親】



#### 【父親】



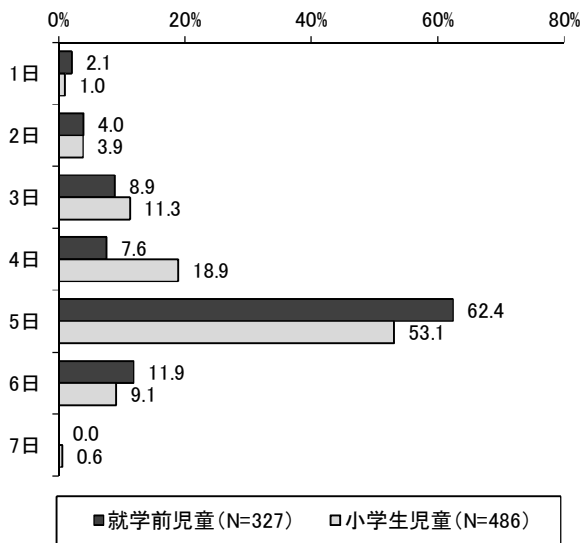
\* 「フルタイム」：1週5日程度・1日8時間程度の就労  
「パート・アルバイト等」：フルタイム以外の就労

## ●就労している保護者の状況

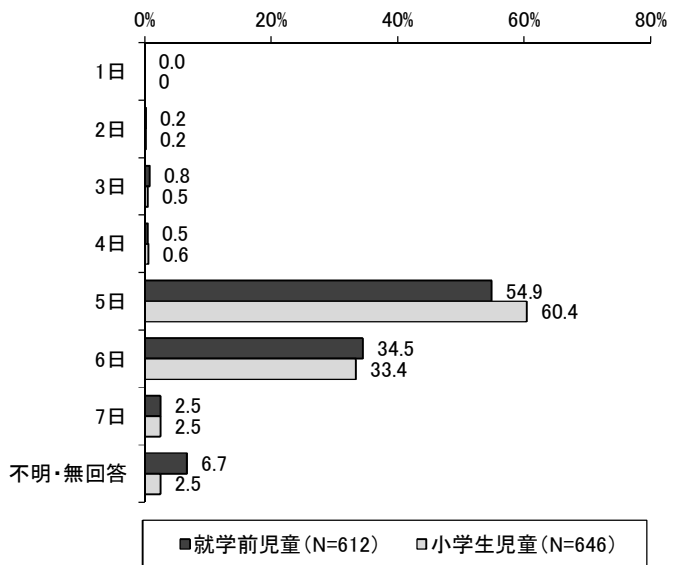
就労している保護者の状況についてみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに1週当たりの就労日数は「5日」、1日当たりの就労時間は「8時間」、出発時間は「8時」、帰宅時間は「18時」がそれぞれ最も高くなっています。また、父親では就学前児童、小学生児童ともに1週当たりの就労日数は「5日」、1日当たりの就労時間は「10時間以上」、出発時間は「7時」、帰宅時間は「21時以降」がそれぞれ最も高くなっています。

### ① 1週当たりの就労日数〈数量回答〉

#### 【母親】

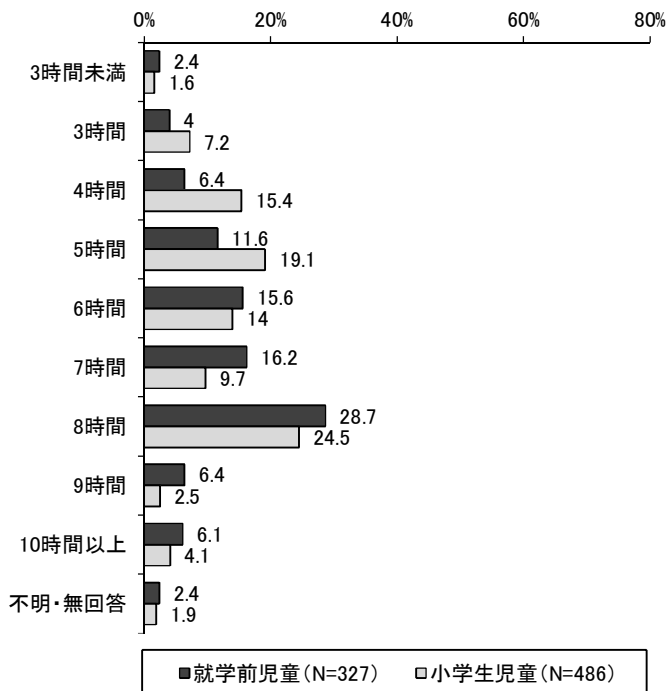


#### 【父親】

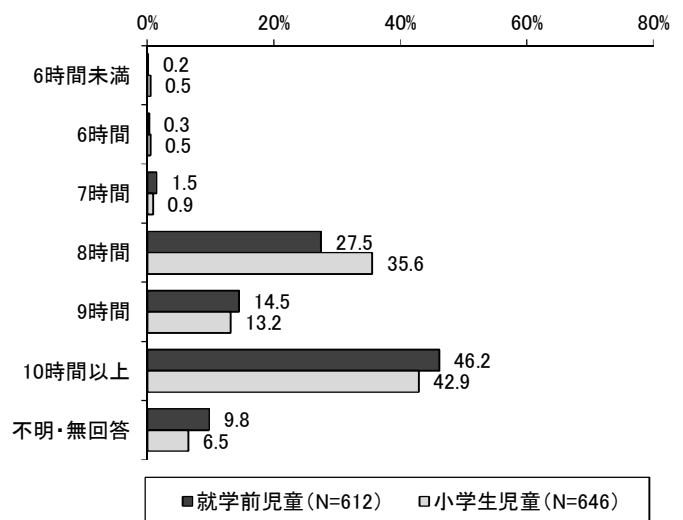


### ② 1日当たりの就労時間〈数量回答〉

#### 【母親】

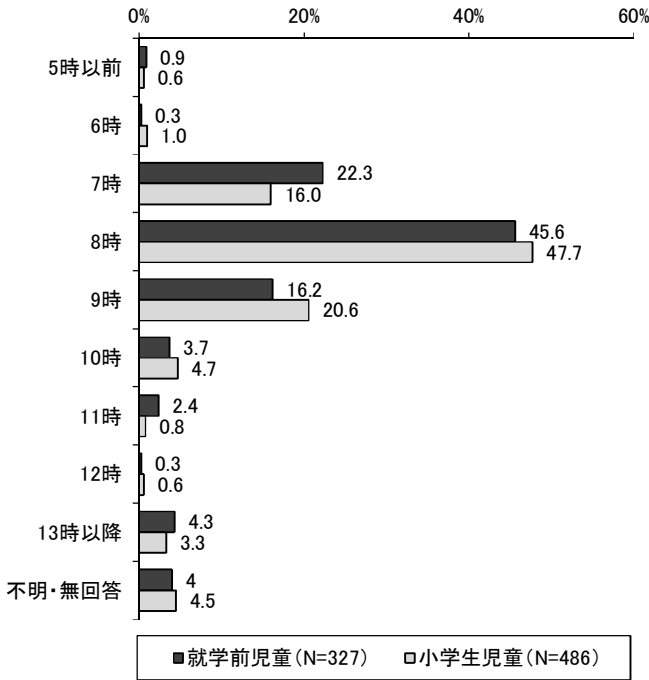


#### 【父親】

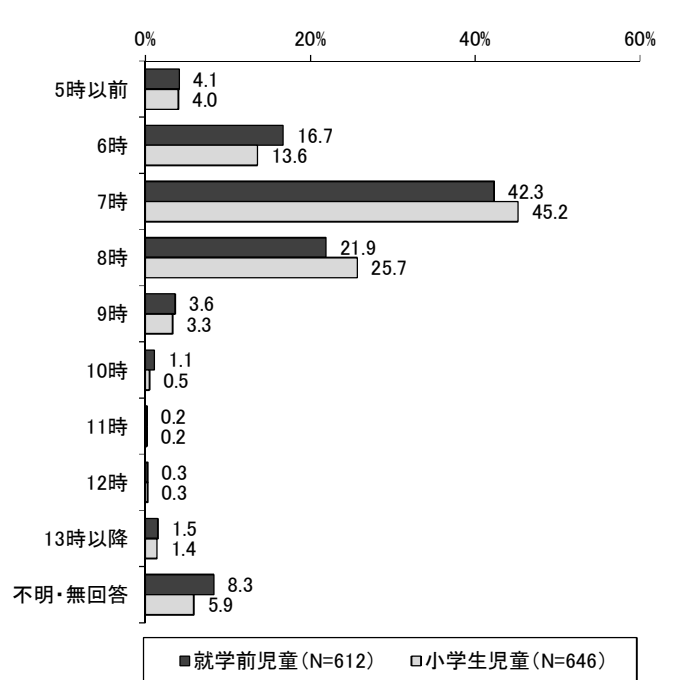


### ③出発時間〈数量回答〉

#### 【母親】

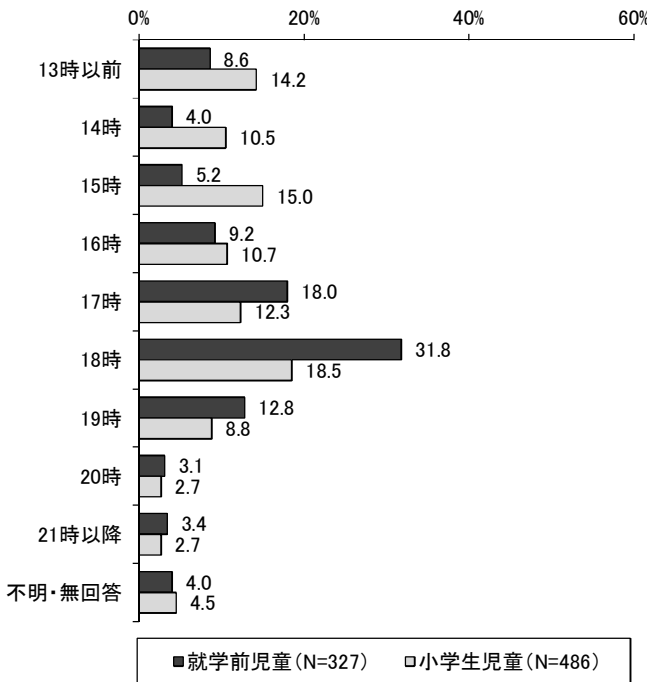


#### 【父親】

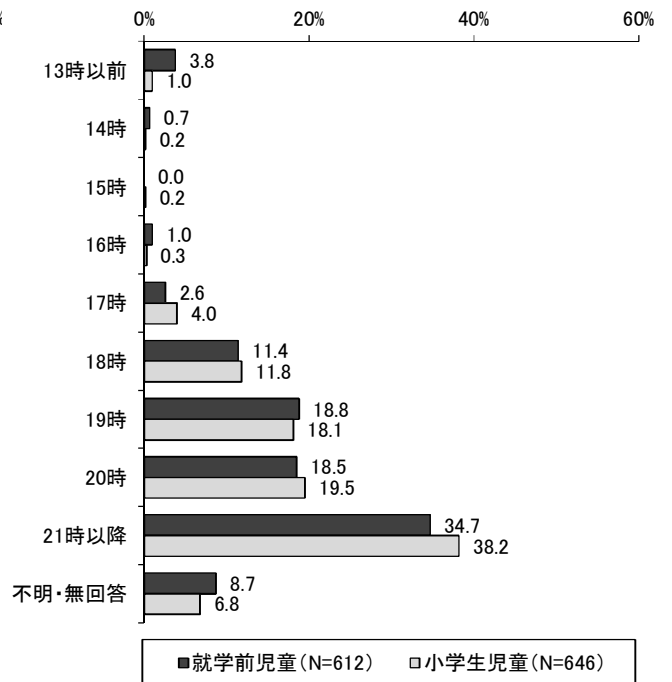


### ④帰宅時間〈数量回答〉

#### 【母親】



#### 【父親】



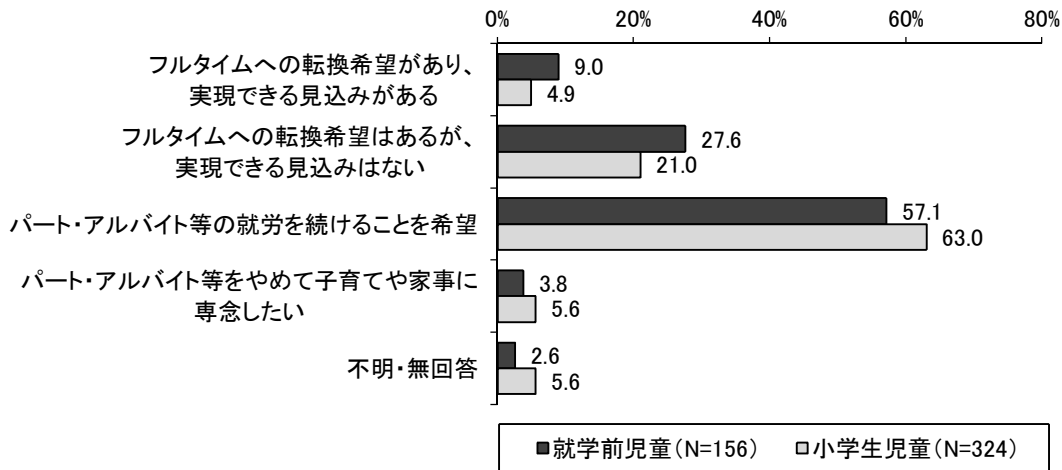
(1)で「就労している（パート、アルバイト等）」または「就労している（パート・アルバイト等だが、育休・介護休業中）」を選んだ方

(2)パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 14-1、小学生児童調査…問 12-1〕

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望についてみると、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が就学前児童で 57.1%、小学生児童で 63.0%と最も高くなっています。

【母親】



【父親】 フルタイムへの転換希望	就学前児童 (N=5)		小学生児童 (N=8)	
	件数	%	件数	%
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	0	0.0	0	0.0
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	40.0	3	37.5
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	2	40.0	4	50.0
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	20.0	1	12.5

(1)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」を選んだ方

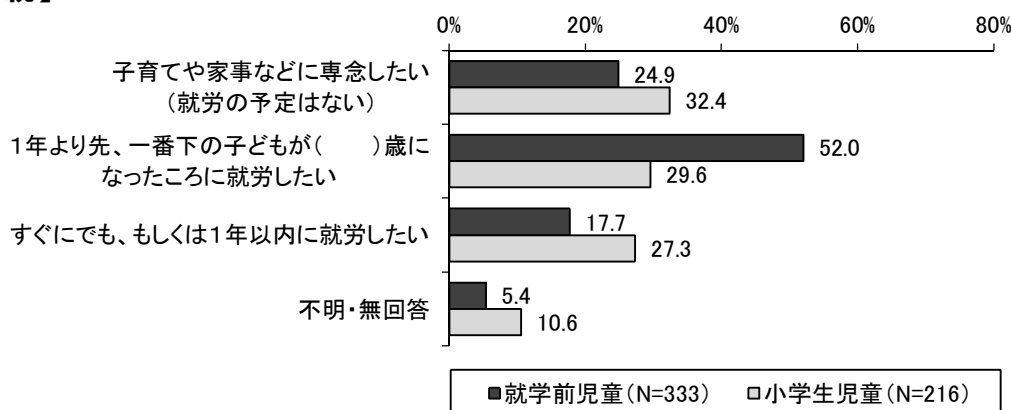
### (3) 現在、就労していない方の就労希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 14-2、小学生児童調査…問 12-2〕

現在就労していない方の就労希望についてみると、母親では就学前児童で「1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」52.0%、小学生児童では「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が32.4%と最も高くなっています。

また、一番下の子どもが何歳になれば就労したいかでは、就学前児童では「7歳」が、小学生児童では「10歳以上」が最も高くなっています。

#### 【母親】



#### 【父親】

【父親】 就労希望	就学前児童 (N=8)		小学生児童 (N=6)	
	件数	%	件数	%
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1	12.5	0	0.0
1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい	1	12.5	0	0.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	4	50.0	4	66.7
不明・無回答	2	25.0	2	33.3

#### ①一番下の子どもが何歳になれば就労したいか〈数量回答〉

《「1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」を選んだ方》

【母親】 就労したい時の 末子の年齢	就学前児童 (N=173)		小学生児童 (N=64)	
	件数	%	件数	%
1歳	3	1.7	0	0.0
2歳	6	3.5	0	0.0
3歳	16	9.2	3	4.7
4歳	18	10.4	4	6.3
5歳	5	2.9	0	0.0
6歳	18	10.4	3	4.7
7歳	72	41.6	16	25.0
8歳	11	6.4	5	7.8
9歳	3	1.7	1	1.6
10歳以上	16	9.2	28	43.8
不明・無回答	2	3.4	4	6.3

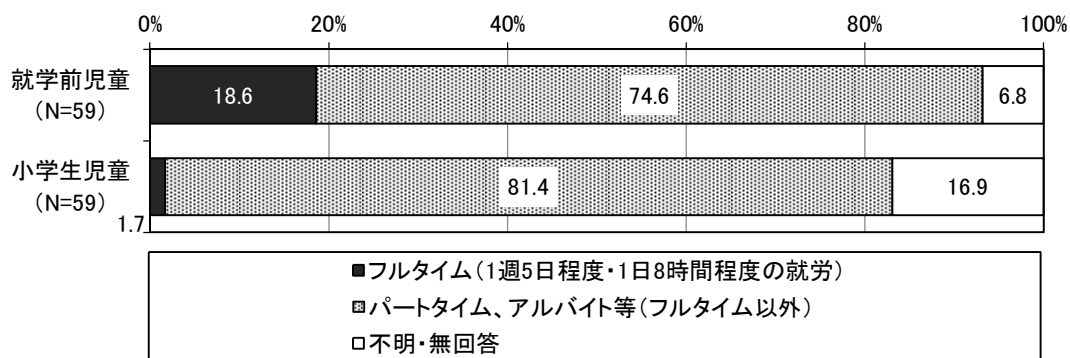
※【父親】就学前調査では「6歳」に1件、小学生調査は回答がありませんでした。



『すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい』方の希望する就労形態については、母親では「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が就学前児童で74.6%、小学生児童で81.4%と最も高くなっています。

また、パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）を選んだ方の希望する1週当たりの就労日数については、母親では就学前児童で「4日」、小学生児童で「3日」の割合が最も高くなっています。希望する1日当たりの就労時間では、母親では就学前児童で「4時間」、小学生児童で「5時間」の割合が最も高くなっています。

**②希望する就労形態〈単数回答〉《「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方》**  
**【母親】**



**【父親】**

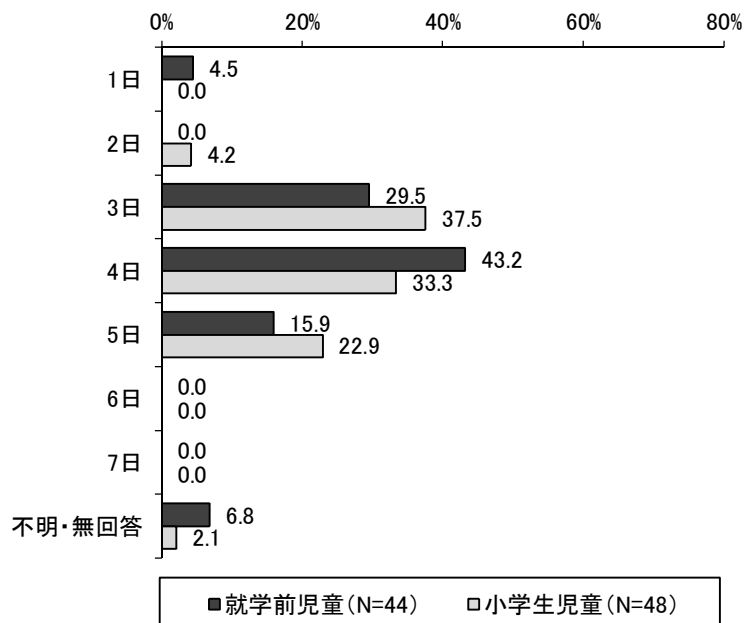
【父親】 希望する就労形態	就学前児童 (N=4)		小学生児童 (N=4)	
	件数	%	件数	%
フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	4	100.0	0	0.0
パートタイム、アルバイト等 (フルタイム以外)	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	4	100.0

### ③パートタイム、アルバイト等で希望する就労形態〈数量回答〉

《②で「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」を選んだ方》

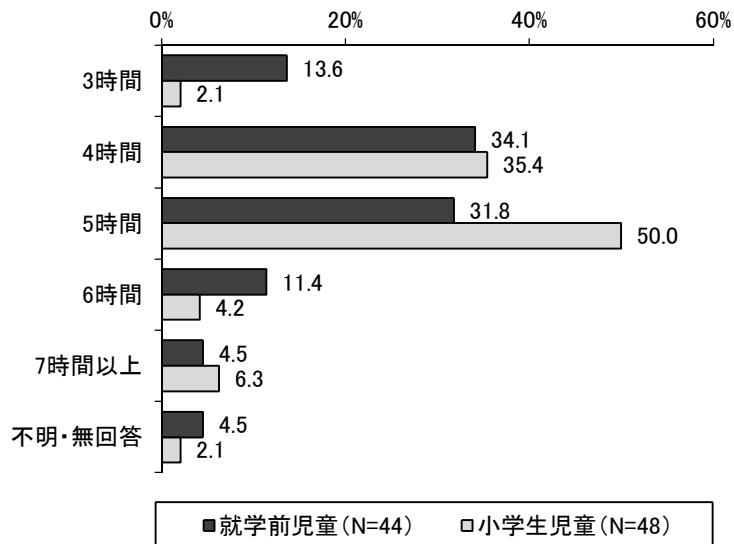
#### ■希望する1週当たりの就労日数

##### 【母親】



#### ■希望する1日当たりの就労時間

##### 【母親】

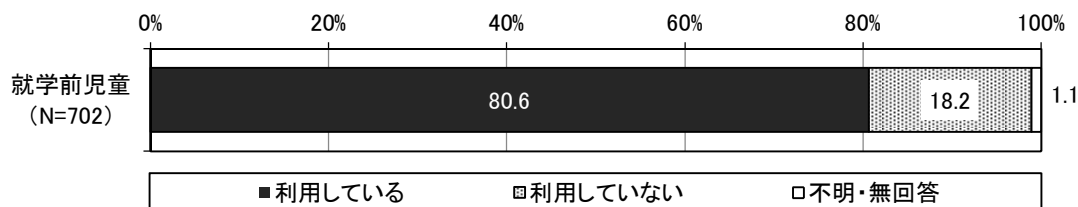


※【父親】就学前調査、小学生調査ともに回答がありませんでした。

## 4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）

### （1）現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 15〕

現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無についてみると、「利用している」が80.6%と大部分を占めています。



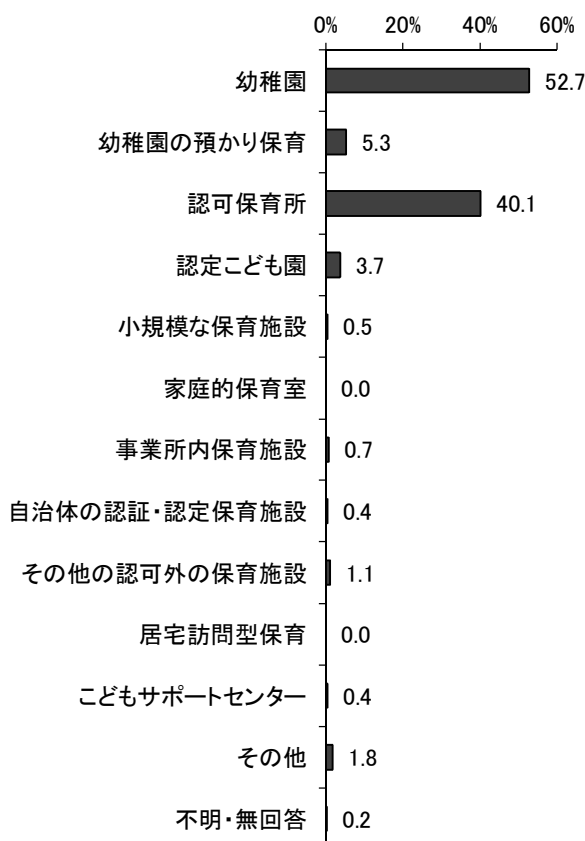
\*ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指す。具体的には、幼稚園や保育所など、（1）－1に示す事業が含まれる。

### （1）で「利用している」を選んだ方

#### （1）－1 平日に利用している教育・保育事業〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 15－1〕

平日に利用している教育・保育事業についてみると、「幼稚園」が52.7%、「認可保育所」が40.1%、「幼稚園の預かり保育」が5.3%となっています。

就学前児童 (N=566)



(1)で「利用している」を選んだ方

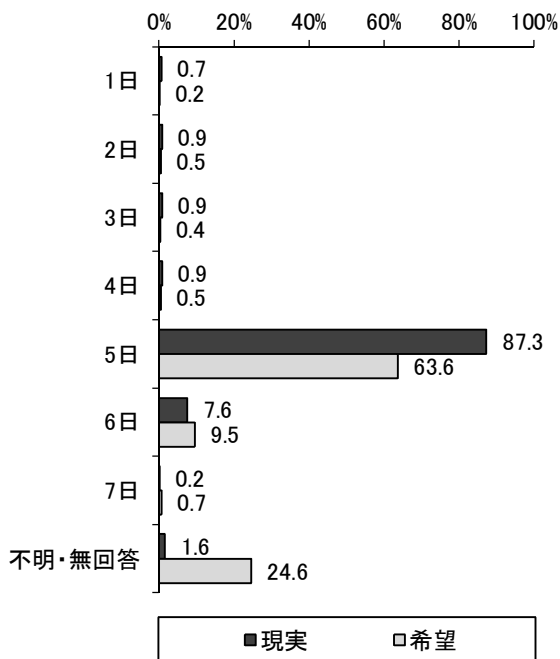
(1)－2 平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望〈数量回答〉〔就学前児童調査…問15-2〕

平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望についてみると、1週当たりの利用日数では、現実、希望ともに「5日」が最も高く、それぞれ87.3%、63.6%となっています。また、1日当たりの利用時間では、現実「5時間」、希望は「7時間」が最も高くなっています。

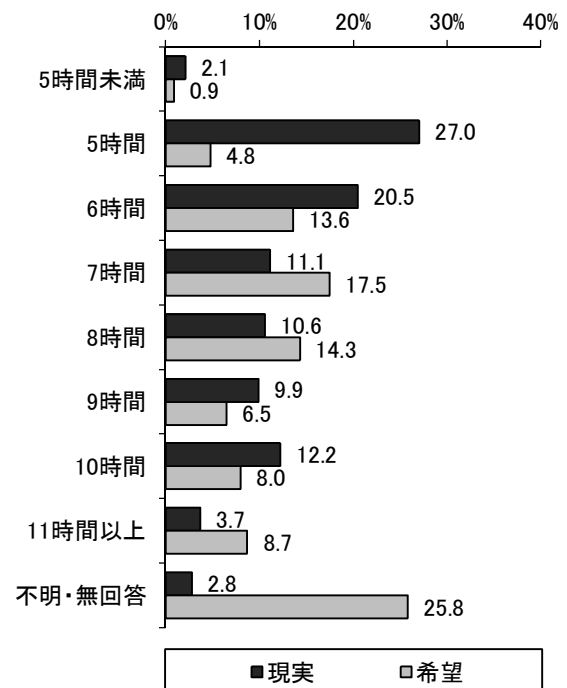
① 1週当たりの利用日数〈数量回答〉

② 1日当たりの利用時間〈数量回答〉

就学前児童(N=566)



就学前児童(N=566)

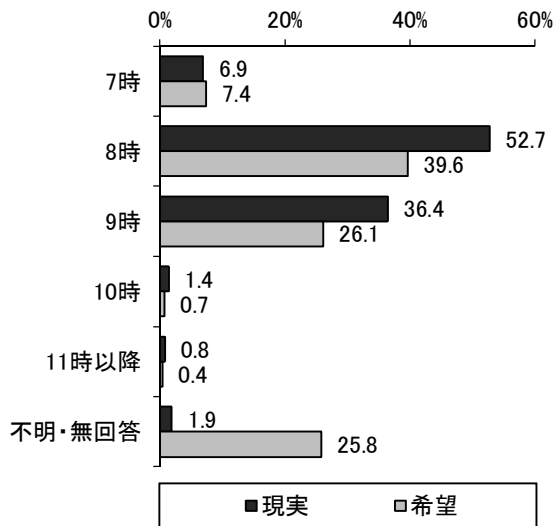


利用開始時間では、現実、希望ともに「8時」が最も高く、それぞれ52.7%、39.6%となっています。また、終了時間では、現実「14時」、希望「15時」が最も高くなっています。

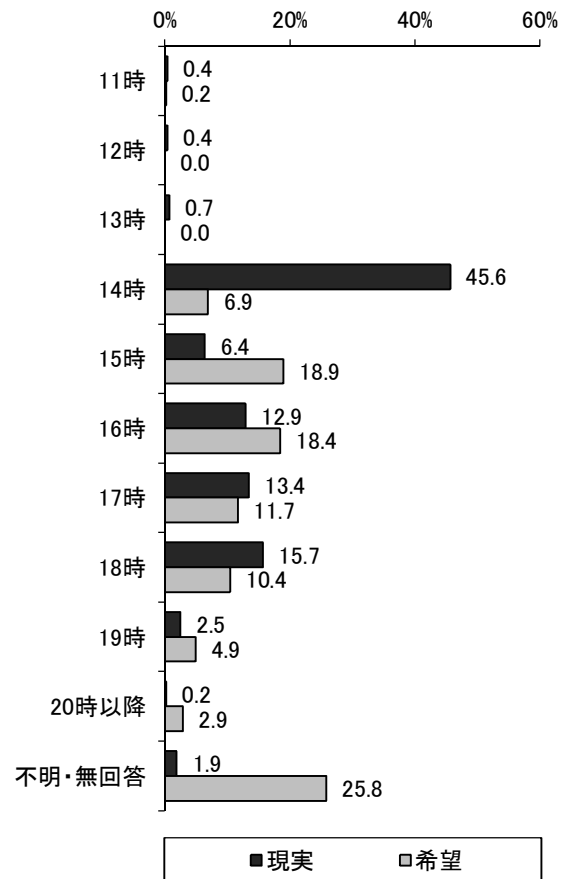
### ③利用開始時間〈数量回答〉

### ④利用終了時間〈数量回答〉

就学前児童(N=566)



就学前児童(N=566)

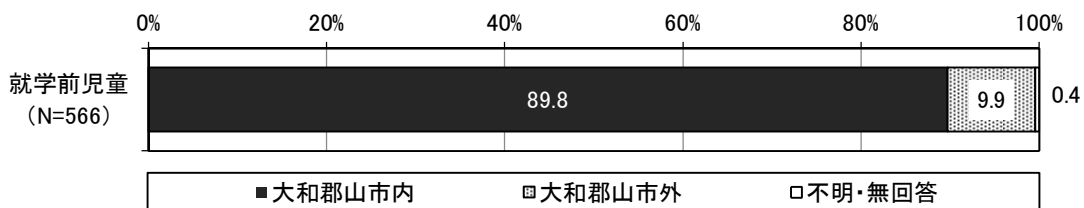


### (1)で「利用している」を選んだ方

#### (1)－3 平日、利用している教育・保育事業の実施場所〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 15－3]

平日、利用している教育・保育事業の実施場所についてみると、「大和郡山市内」が89.8%と大部分を占めています。



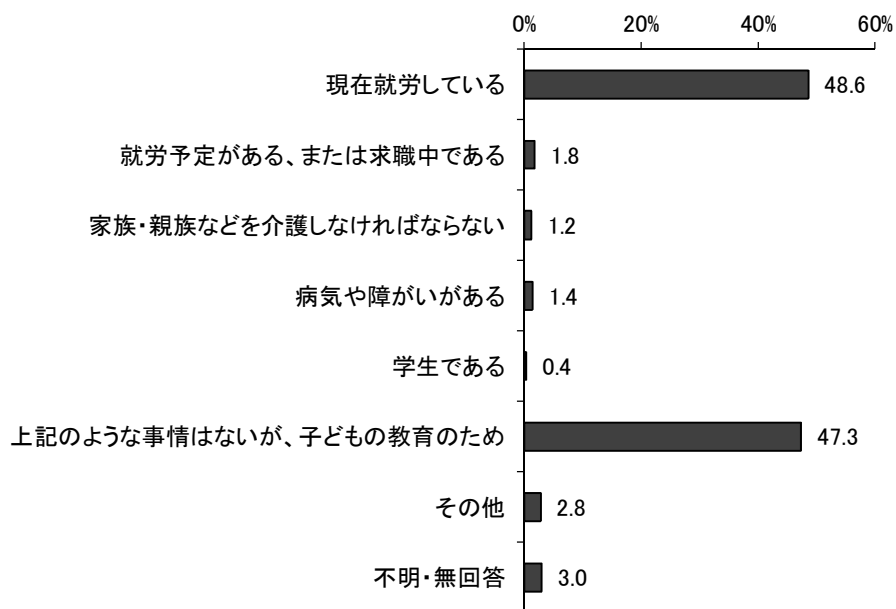
(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－4 平日、教育・保育事業を利用している主な理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 15－4〕

平日、教育・保育事業を利用している主な理由についてみると、「現在就労している」が48.6%、「上記のような事情はないが、子どもの教育のため」が47.3%となっています。

就学前児童(N=566)



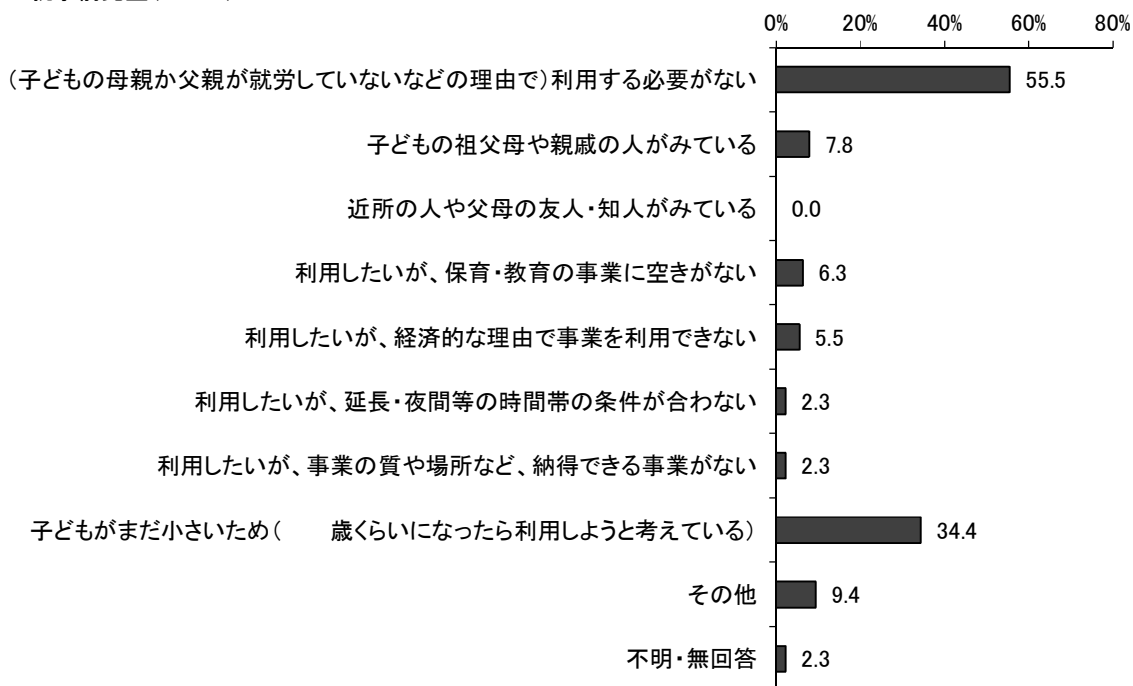
## (1)で「利用していない」を選んだ方

### (1)－5 利用していない主な理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問15－5〕

平日、教育・保育事業を利用していない主な理由についてみると、「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」が55.5%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため( 歳くらいになったら利用しようと考えている)」が34.4%となっています。

また、子どもがまだ小さいために教育・保育事業を利用していない方で、今後利用しようとする時の子どもの年齢については、「3歳」が47.7%と最も高くなっています。

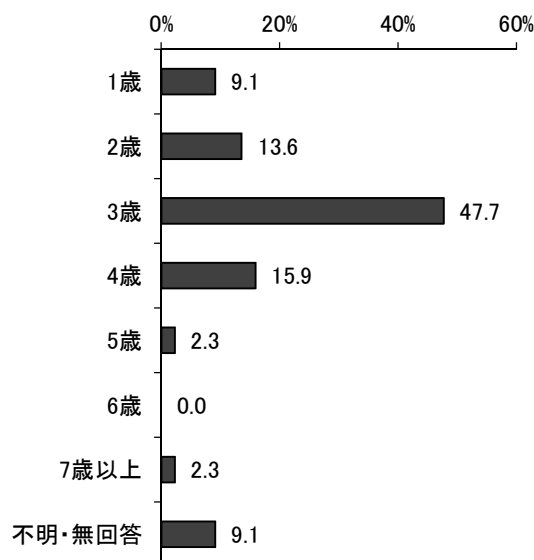
就学前児童(N=128)



### ◎利用したい時の子どもの年齢〈数量回答〉

《「子どもがまだ小さいため( 歳くらいになったら利用しようと考えている)」を選んだ方》

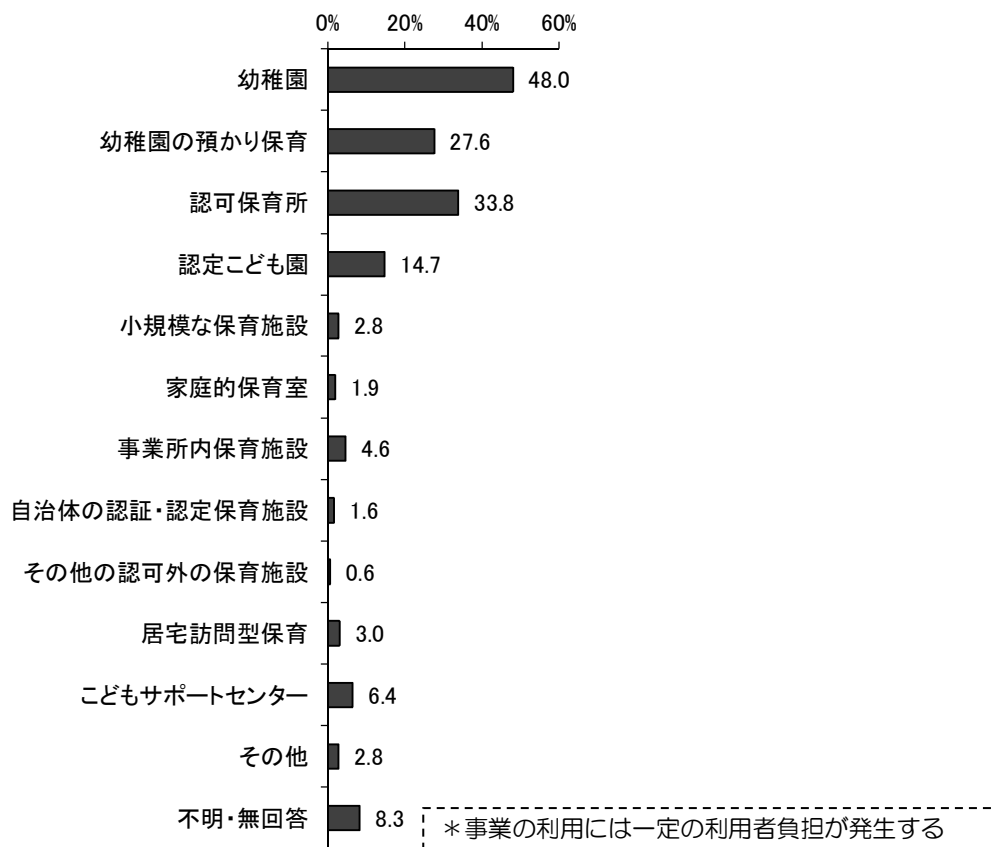
就学前児童(N=128)



**(2) 現在の利用の有無にかかわらず、今後、平日の教育・保育事業として「定期的に」  
利用したいと考える事業〈複数回答〉**〔就学前児童調査…問 16〕

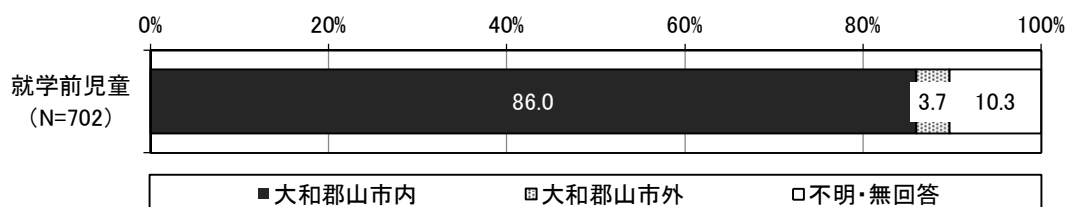
今後、平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業についてみると、「幼稚園」が48.0%で最も高く、次いで「認可保育所」が33.8%、「幼稚園の預かり保育」が27.6%となっています。

就学前児童(N=702)



**(2) - 1 教育・保育事業を利用したい場所〈単数回答〉**〔就学前児童調査…問 16-1〕

教育・保育事業を利用したい場所についてみると、「大和郡山市内」が86.0%と大部分を占めています。





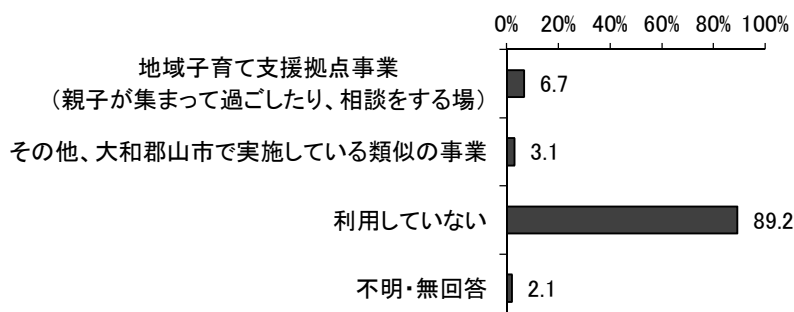
## 5 地域の子育て支援事業の利用状況について（就学前児童）

### （1）現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況〈複数回答〉〔就学前児童調査…問17〕

地域子育て支援拠点事業の利用状況についてみると、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が6.7%、「その他、大和郡山市で実施している類似の事業」が3.1%となっています。一方、「利用していない」は89.2%となっています。

また、1週当たりの利用回数では、『地域子育て支援センター』『親子たんどん広場』『その他大和郡山市で実施している類似の事業』ともに「1回」の割合が高くなっています。1ヶ月当たりの利用回数では、『親子たんどん広場』『地域子育て支援センター』『その他、大和郡山市で実施している類似の事業』ともに「1回」の割合が高くなっています。

就学前児童(N=702)



### ◎1週当たりもしくは1ヶ月当たりの利用回数〈数量回答〉

《「地域子育て支援拠点事業」「その他、大和郡山市で実施している類似の事業」を選んだ方》

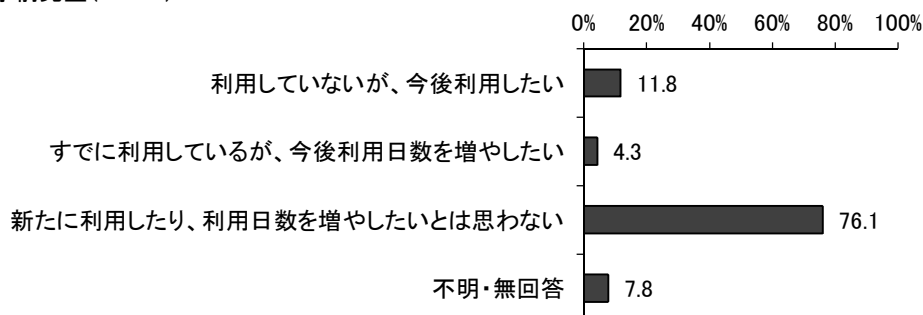
【就学前児童】 1週当たりの 利用希望回数	親子たんどん広場 (N=47)		地域子育て支援 センター(N=47)		その他、大和郡山市で 実施している 類似の事業(N=22)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1回	11	23.4	3	6.4	5	22.7
2回	6	12.8	4	8.5	3	13.6
3回	2	4.3	1	2.1	0	0.0
4回	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5回以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	28	59.6	39	83.0	14	63.6
【就学前児童】 1ヶ月当たりの 利用希望回数	親子たんどん広場 (N=47)		地域子育て支援 センター(N=47)		その他、大和郡山市で 実施している 類似の事業(N=22)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1回	9	19.1	8	17.0	8	36.4
2回	6	12.8	3	6.4	2	9.1
3回	2	4.3	1	2.1	2	9.1
4回	2	4.3	0	0.0	1	4.5
5回以上	2	4.3	1	2.1	0	0.0
不明・無回答	26	55.3	34	72.3	9	40.9

## （２）地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 18〕

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が76.1%と最も高くなっています。

また、1週当たりの利用希望回数では、『親子たんとん広場』『地域子育て支援センター』『その他大和郡山市で実施している類似の事業』ともに「1回」の割合が高くなっています。1ヶ月当たりの利用希望回数では、『親子たんとん広場』『地域子育て支援センター』で「1回」、『その他、大和郡山市で実施している類似の事業』で「2回」の割合が、それぞれ高くなっています。

就学前児童(N=702)



### ◎1週当たりもしくは1ヶ月当たりの利用希望回数〈数量回答〉

《「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選んだ方》

【就学前児童】 1週当たりの 利用希望回数	親子たんとん広場 (N=83)		地域子育て支援 センター(N=83)		その他、大和郡山市で 実施している 類似の事業(N=30)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1回	10	12.0	12	14.5	7	23.3
2回	2	2.4	0	0.0	4	13.3
3回	0	0.0	0	0.0	1	3.3
4回	2	2.4	0	0.0	0	0.0
5回以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	69	83.1	71	85.5	18	60.0
【就学前児童】 1ヶ月当たりの 利用希望回数	親子たんとん広場 (N=83)		地域子育て支援 センター(N=83)		その他、大和郡山市で 実施している 類似の事業(N=30)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1回	22	26.5	21	25.3	4	13.3
2回	10	12.0	12	14.5	10	33.3
3回	4	4.8	4	4.8	2	6.7
4回	3	3.6	6	7.2	0	0.0
5回以上	0	0.0	1	1.2	2	6.7
不明・無回答	44	53.0	39	47.0	12	40.0

### （3）子育てに関する機関や子育てサービスの認知度と利用経験、今後の利用意向〈単数回答〉〔就学前児童調査…問19〕

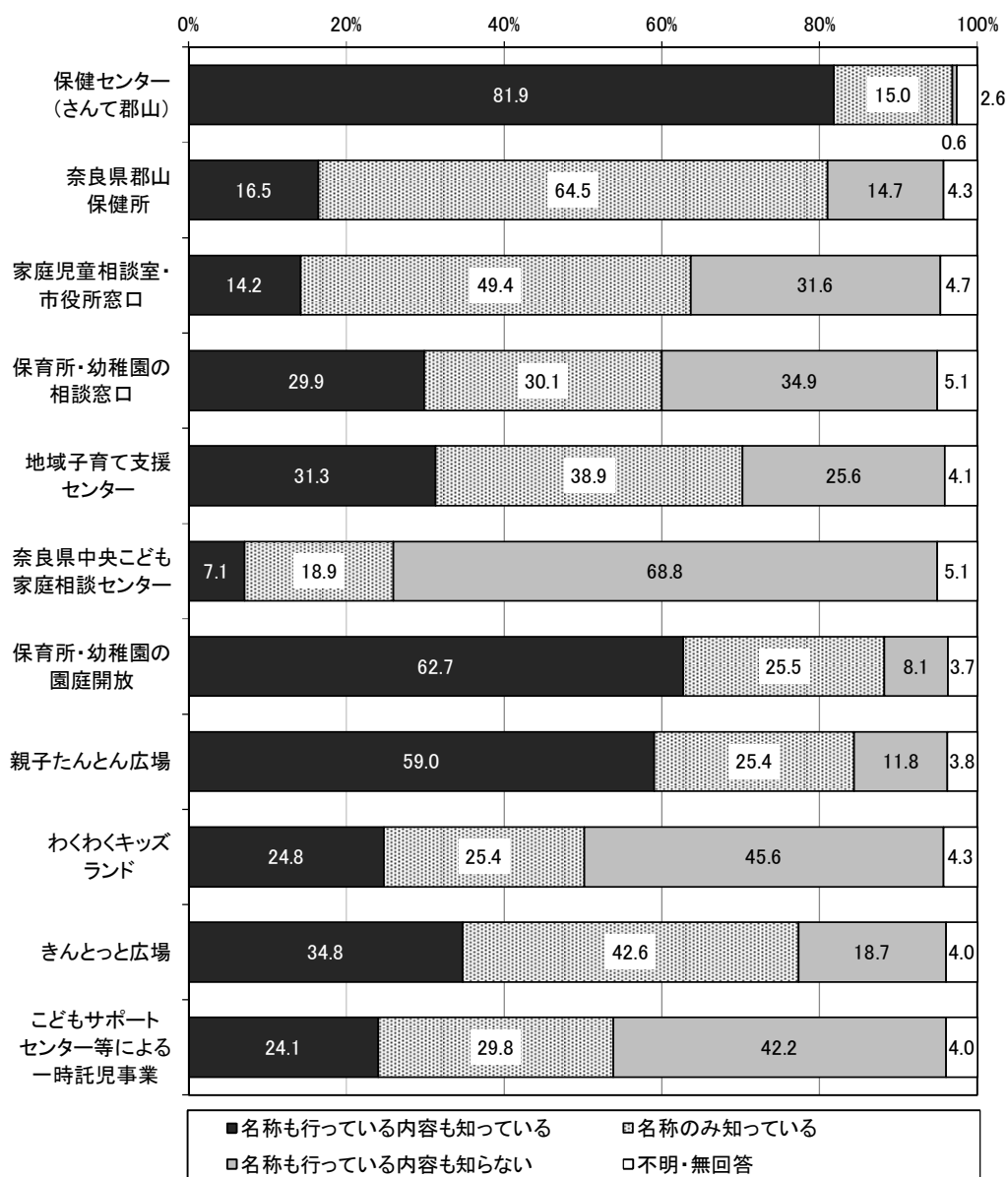
子育てに関する機関や子育てサービスの認知度についてみると、「名称も行っている内容も知っている」では、『保健センター（さんて郡山）』が81.9%と最も高く、次いで『保育所・幼稚園の園庭解放』が62.7%となっています。

子育てに関する機関や子育てサービスの利用経験についてみると、「利用したことがある」では、『保健センター（さんて郡山）』が82.2%と最も高く、次いで『親子たんとん広場』が48.3%となっています。

子育てに関する機関や子育てサービスの今後の利用意向についてみると、「今後利用したい」では、『保健センター（さんて郡山）』が51.4%と最も高く、次いで『保育所・幼稚園の園庭解放』が39.5%となっています。

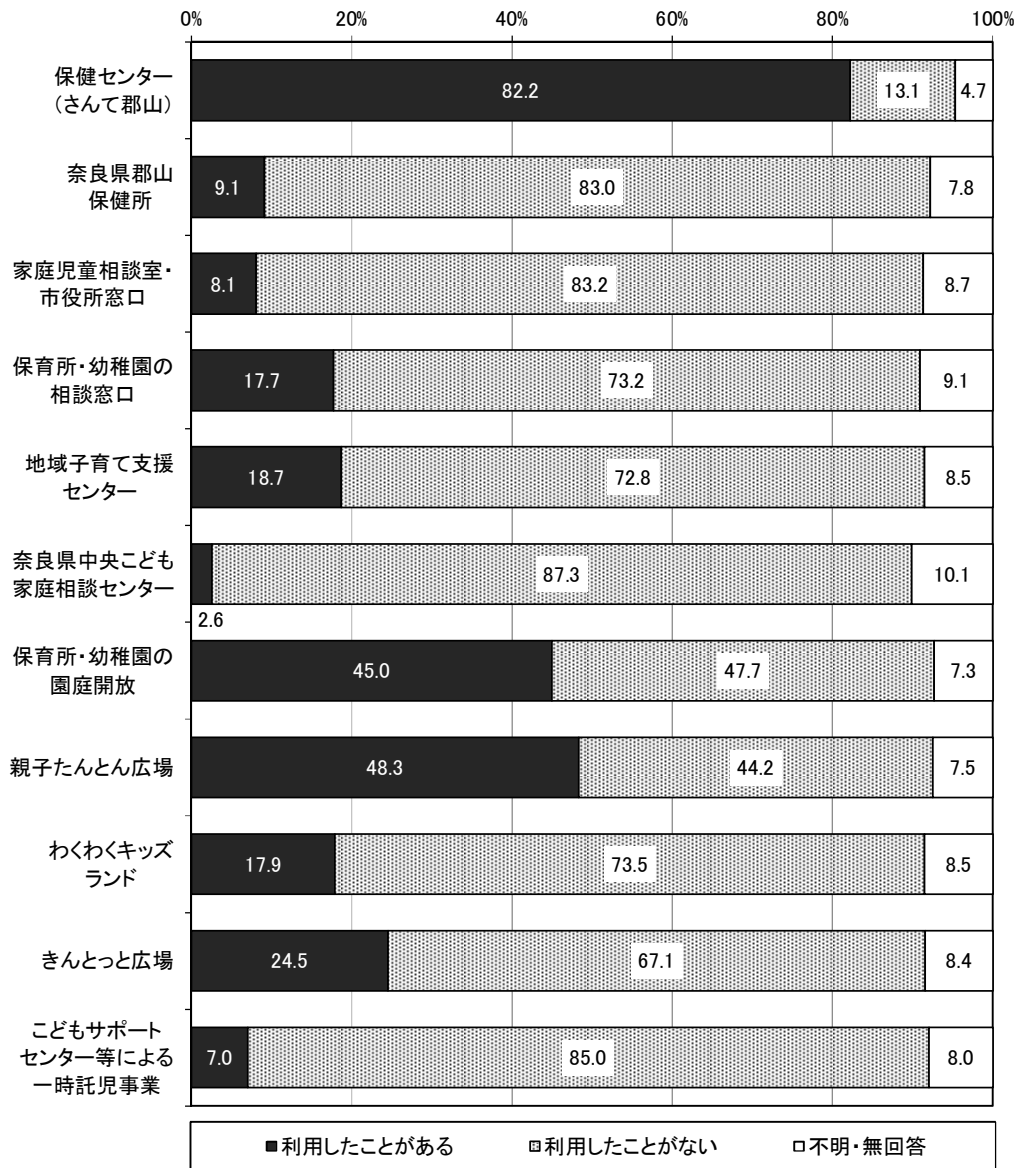
#### ◎認知度

就学前児童(N=702)



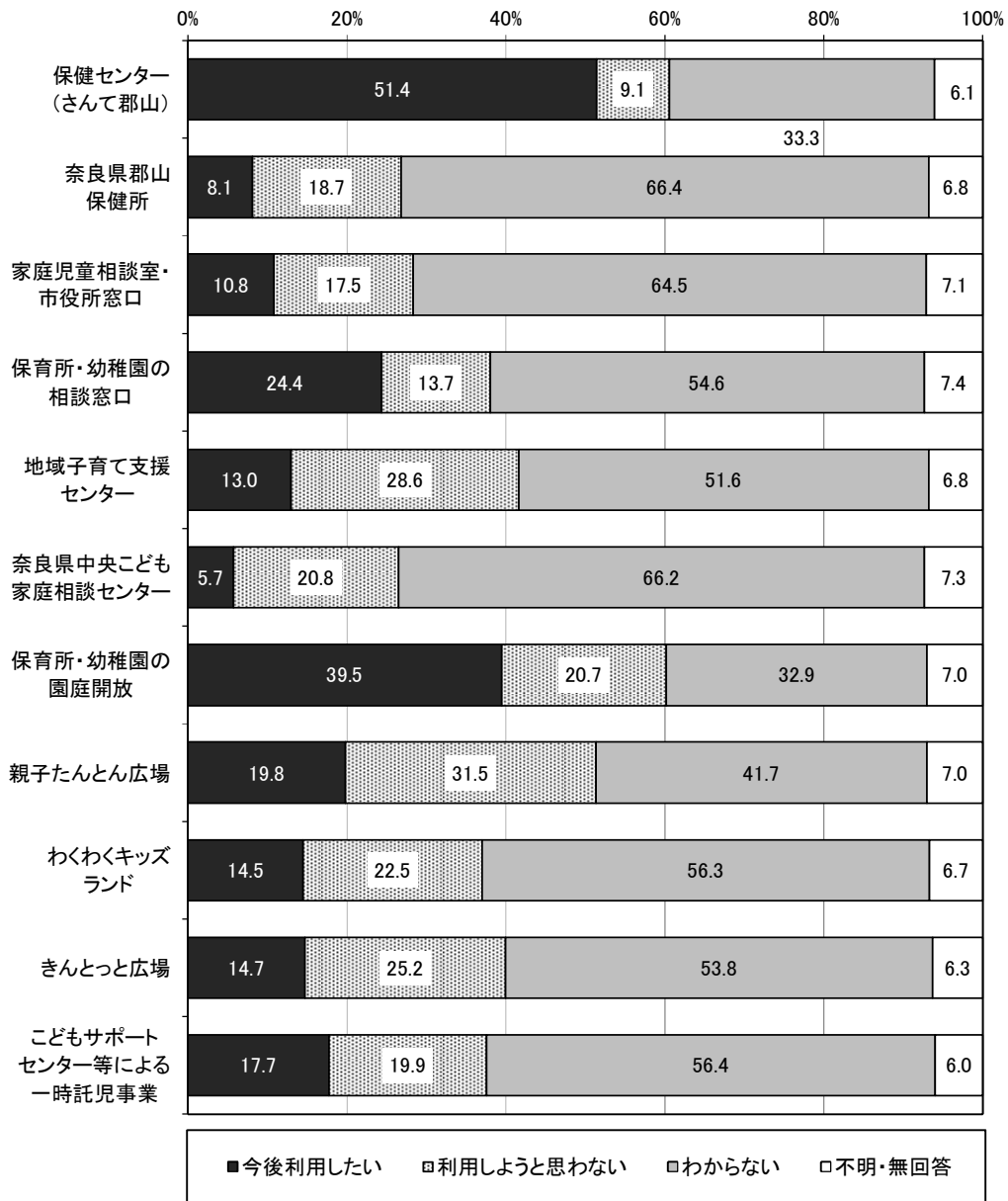
## ◎利用経験

就学前児童(N=702)



## ◎今後の利用意向

就学前児童(N=702)



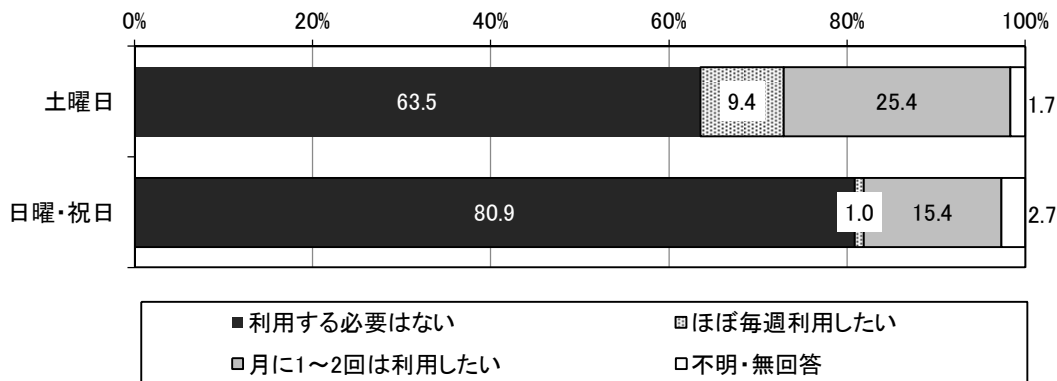
## 6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）

### （１）土曜日と日曜・祝日の、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除く）〈単数回答〉〔就学前児童調査…問20〕

土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望についてみると、土曜日、日曜・祝日ともに「利用する必要はない」がそれぞれ 63.5%、80.9%と最も高く、特に日曜・祝日では8割と、大部分を占めています。

また、希望する利用時間帯については、開始時間では土曜日、日曜・祝日ともに「8～9時」の割合が最も高くなっています。終了時間では、土曜日、日曜・祝日ともに「16～17時」の割合が、最も高くなっています。

就学前児童(N=702)



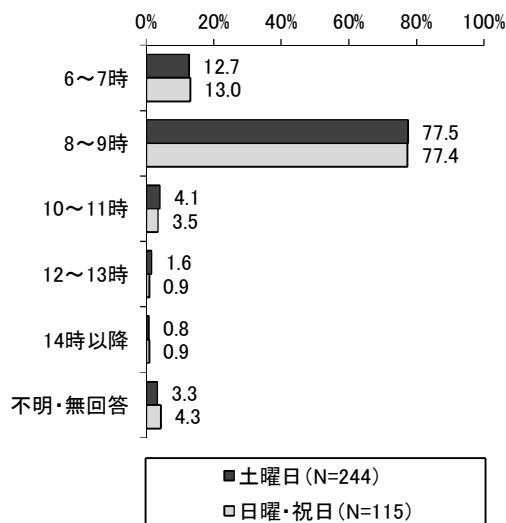
\*事業の利用には一定の利用者負担が発生する

### ◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選んだ方》

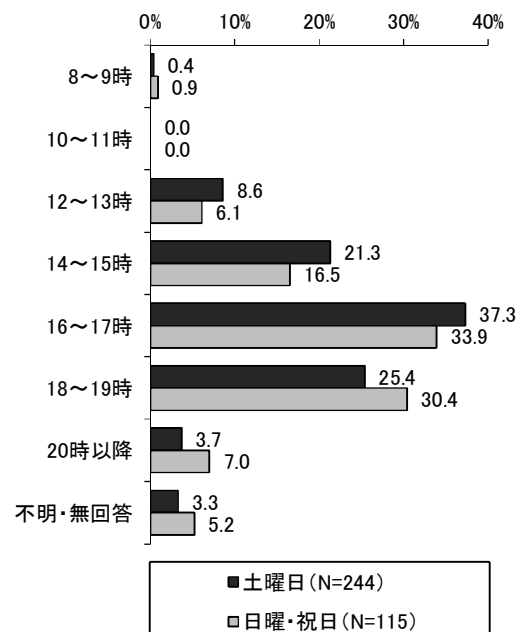
#### 【開始時間】

就学前児童



#### 【終了時間】

就学前児童

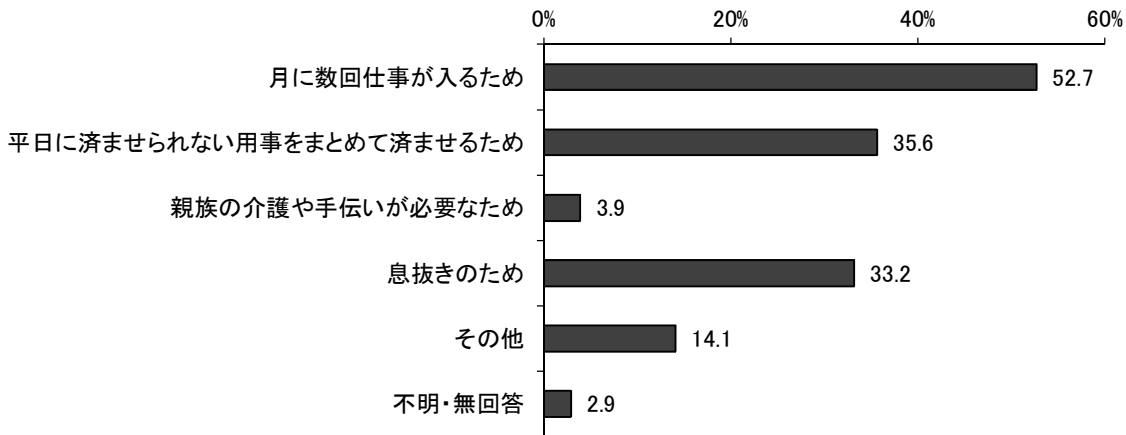


**(1) で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方**

**(1) - 1 毎週ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉**〔就学前児童調査…問 20-1〕

毎週ではなく、たまに利用したい方の理由についてみると、「月に数回仕事が入るため」が52.7%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が35.6%となっています。

就学前児童(N=205)



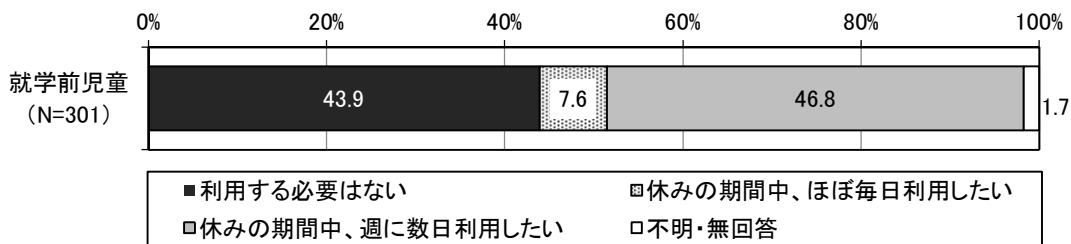
**「幼稚園」を利用されている方**

**(2) 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望〈単数回答〉**

〔就学前児童調査…問 21〕

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望についてみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が46.8%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が43.9%となっています。

また、希望する利用時間帯については、開始時間では「9時」、終了時間では「15時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。



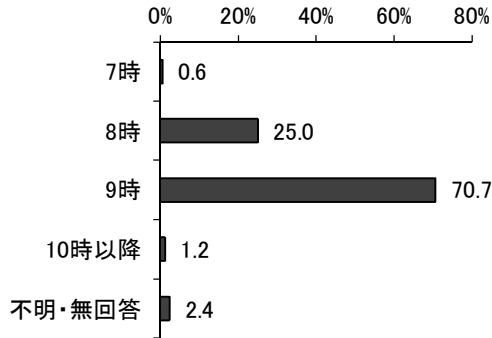
\*事業の利用には一定の利用者負担が発生する

## ◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方》

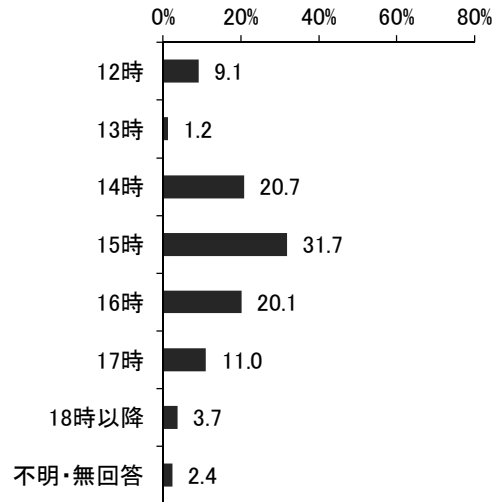
### 【開始時間】

就学前児童(N=164)



### 【終了時間】

就学前児童(N=164)

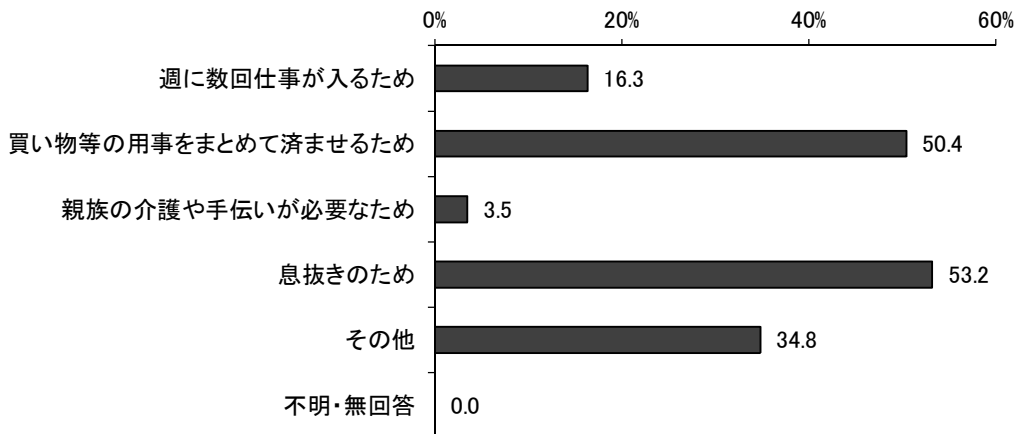


## (2)で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方

### (2)－1 毎日ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 21－1〕

毎日ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「息抜きのため」が53.2%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が50.4%となっています。

就学前児童(N=141)

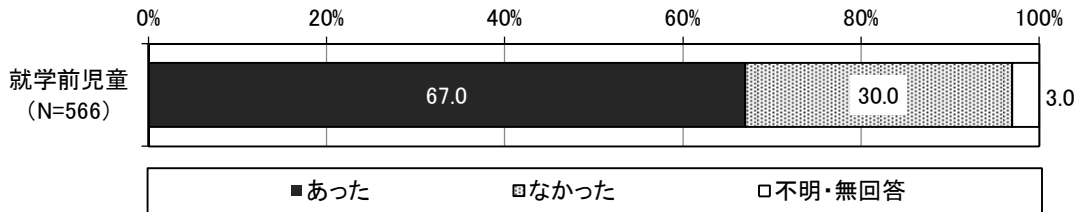




## 7 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）（就学前児童）

### （１）この１年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無 〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 22〕

この１年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無についてみると、「あった」が67.0%、「なかった」が30.0%となっています。



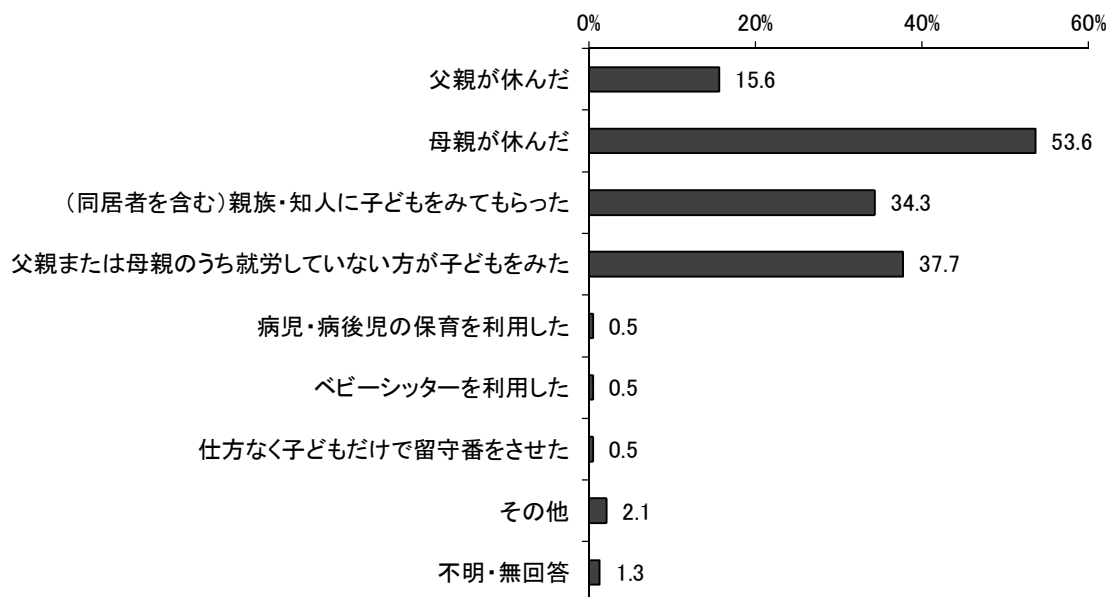
#### （１）で「あった」を選んだ方

### （１）－１ 子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の、この１年間に行った対処方法〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 22－1〕

子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の、この１年間に行った対処方法についてみると、「母親が休んだ」が53.6%と最も高く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が37.7%となっています。

就学前児童(N=379)



子どもが病気やケガの際のそれぞれの対応日数については、『母親が休んだ』『(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった』『父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた』では「7日以上」が最も高くなっています。

◎子どもが病気やケガの際の各対応日数〈数量回答〉

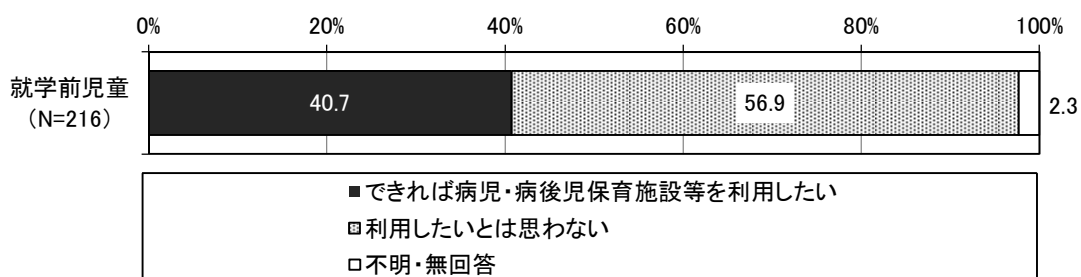
【就学前児童】 対応日数	父親が休んだ N=60		母親が休んだ N=203		もにむ(同居者を含む) 家族をみて人 N=130		をなう(父親又は母親)が N=143		し保病 た育児 施・病 設を後 を利児 用の N=2		をベ 利ビ 用ー しシ タッ ター N=2		さだ仕 せけ方 たでな 留く 守子 番ど をも N=2		その他 N=8	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	16	26.7	19	9.4	19	14.6	14	9.8	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0
2日	16	26.7	27	13.3	29	22.3	17	11.9	0	0.0	1	50.0	1	50.0	2	25.0
3日	12	20.0	34	16.7	23	17.7	21	14.7	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0
4日	1	1.7	7	3.4	4	3.1	8	5.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5
5日	4	6.7	40	19.7	15	11.5	28	19.6	1	50.0	0	0.0	0	0.0	2	25.0
6日	0	0.0	2	1.0	1	0.8	5	3.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日以上	7	11.7	52	25.6	33	25.4	41	28.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	37.5
不明・無回答	4	6.7	22	10.8	6	4.6	9	6.3	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(1) - 1で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選んだ方

(1) - 2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問22-2〕

父親または母親が休んだ方で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかについてみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が40.7%、「利用したいとは思わない」が56.9%となっています。

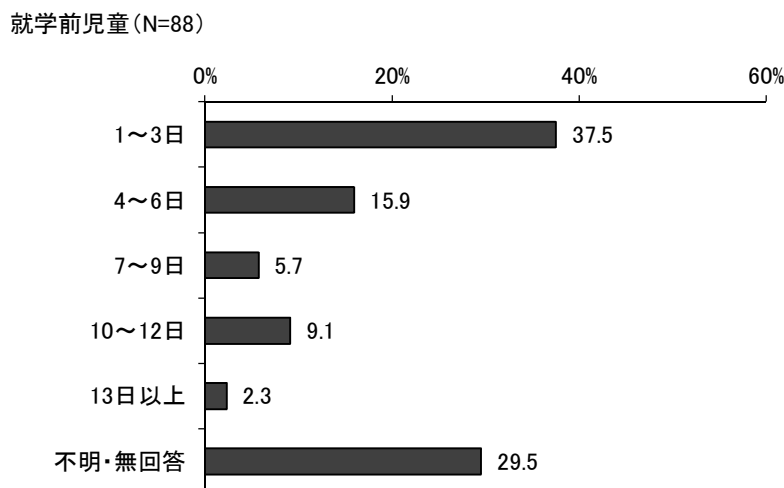
また、できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数については、就学前児童では「1～3日」が37.5%と最も高くなっています。



\*病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要

◎病児・病後児保育施設等を利用したい方の日数〈数量回答〉

《「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方》



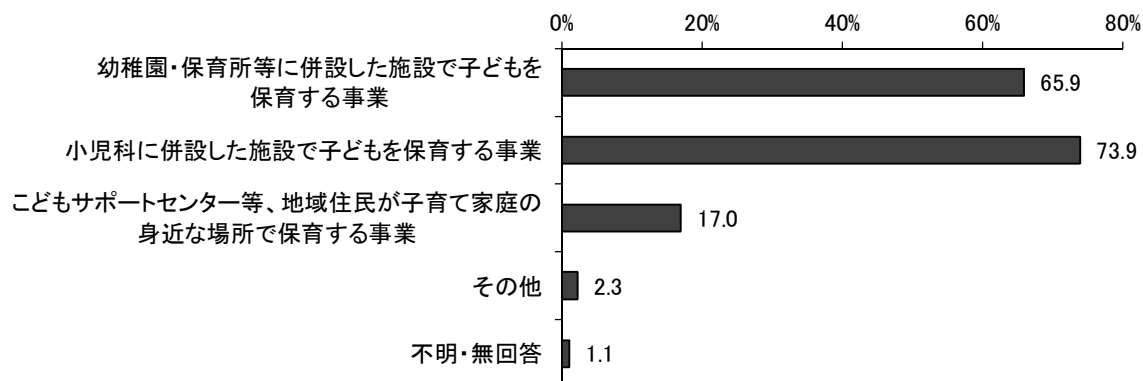
**(1) - 2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方**

**(1) - 3 上記の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態〈複数回答〉**

〔就学前児童調査…問 22-3〕

病児・病後児保育施設等を利用したい方の、子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が73.9%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が65.9%となっています。

就学前児童(N=88)

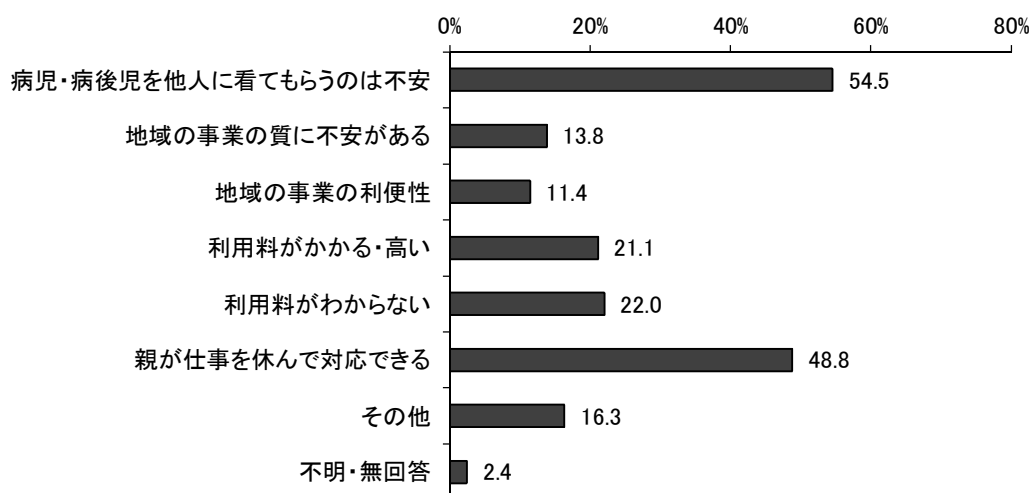


**(1) - 2で「利用したいとは思わない」を選んだ方**

**(1) - 4 そう思う理由〈複数回答〉**〔就学前児童調査…問 22-4〕

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由についてみると、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が54.5%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応できる」が48.8%となっています。

就学前児童(N=123)

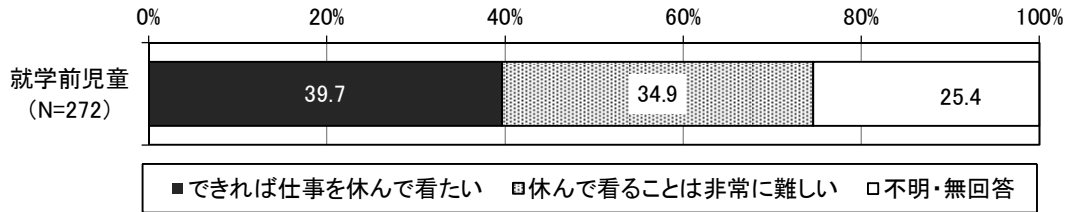


(1) - 1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外を選んだ方

(1) - 5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 22-5〕

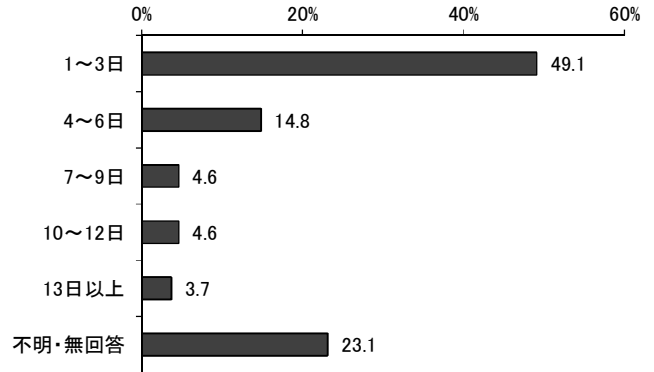
「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったかについてみると、「できれば仕事を休んで看たい」が39.7%と最も高くなっています。

また、できれば仕事を休んで看たい日数については、「1～3日」が最も高くなっています。



◎仕事を休んで看たい日数〈数量回答〉 就学前児童(N=88)

《「できれば仕事を休んで看たい」を選んだ方》



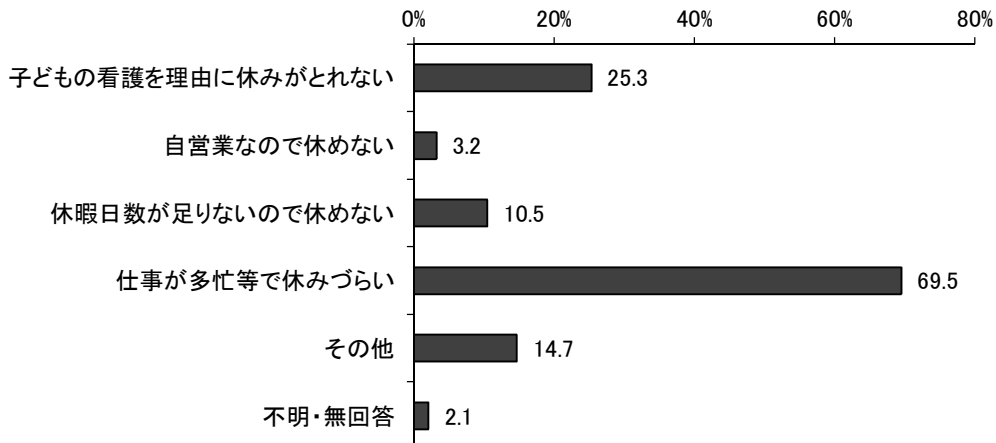
(1) - 5で「休んで看することは非常に難しい」を選んだ方

(1) - 6 そう思う理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 22-6〕

仕事を休んで看することは考えられない理由についてみると、「仕事が多忙等で休みづらい」が69.5%と最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が25.3%となっています。

就学前児童(N=95)

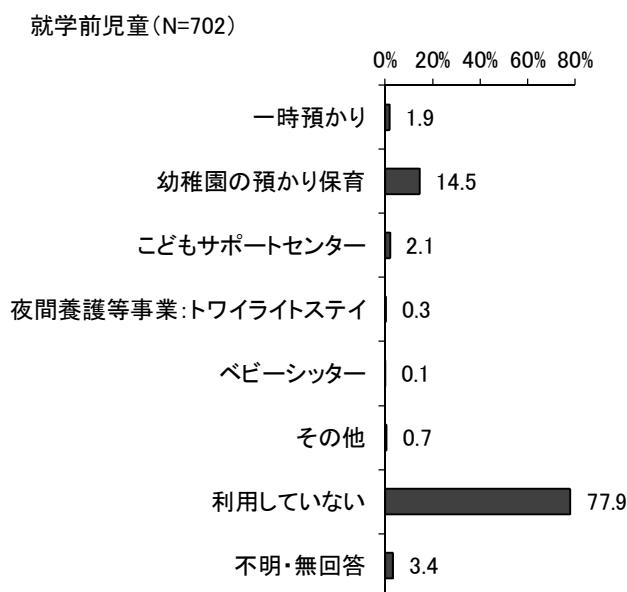


## 8 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について（就学前児童）

### （１）日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用する必要がある事業の有無〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 23〕

一時預かりなど、不定期的に利用する必要がある事業についてみると、「利用していない」が77.9%となっています。利用している事業では、「幼稚園の預かり保育」が14.5%と最も高くなっています。

利用している事業の1年間の利用日数については、『幼稚園の預かり保育』では「1～3日」が高くなっています。



### ◎1年間の利用日数〈数量回答〉

《「利用していない」以外を選んだ方》

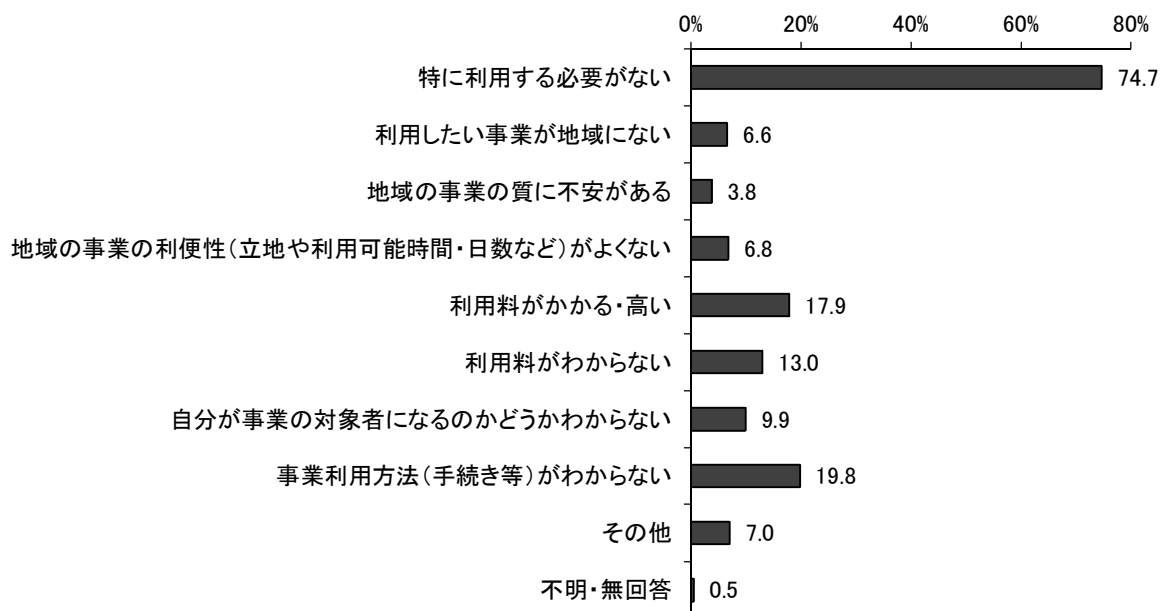
【就学前児童】 1年間の 利用日数	一時預かり N=13		預 幼 か 稚 り 園 保 の 育		セ サ コ ン ポ ど タ   も   ト		ラ 事 夜 イ 業 間 ト : 養 ス ト 護 テ ワ 等 イ イ		シ ベ ッ ビ タ   		そ の 他	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1～3日	4	30.8	36	35.3	7	46.7	1	50.0	1	100.0	0	0.0
4～6日	1	7.7	31	30.4	1	6.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7～9日	4	30.8	1	1.0	1	6.7	1	50.0	0	0.0	0	0.0
10～12日	0	0.0	19	18.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13日以上	2	15.4	8	7.9	4	26.7	0	0.0	0	0.0	3	60.0
不明・無回答	2	15.4	7	6.9	2	13.3	0	0.0	0	0.0	2	40.0

**(1) で「利用していない」を選んだ方**

**(1) - 1 現在利用していない理由〈複数回答〉**〔就学前児童調査…問 23-1〕

現在利用していない理由についてみると、「特に利用する必要がない」が 74.7%となっています。また、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 19.8%となっています。

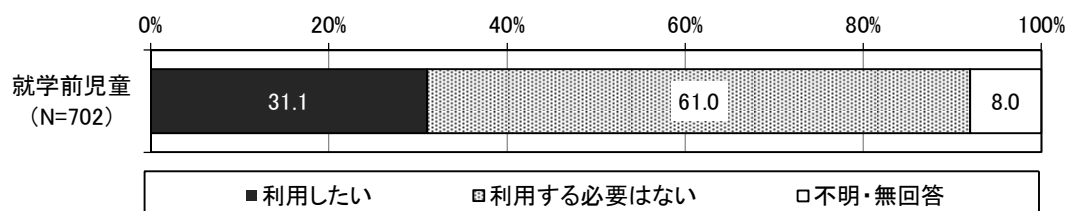
就学前児童(N=546)



**(2) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、利用する必要がある事業の有無〈単数回答〉**〔就学前児童調査…問 24〕

不定期に利用する必要がある事業の有無についてみると、「利用したい」が 31.1%、「利用する必要はない」が 61.0%となっています。

また、利用したい目的の内訳については、「私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的」が 56.9%、「冠婚葬祭、子どもの保護者の通院」が 32.6%、となっています。年間日数については、『私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的』で「10~12日」、『冠婚葬祭、子どもの保護者の通院』で「1~3日」が高くなっています。

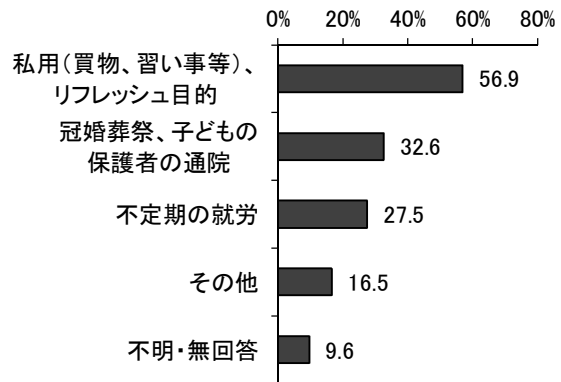


\* 事業の利用には、一定の利用料がかかる

①利用したい目的の内訳〈複数回答〉

《「利用したい」を選んだ方》

就学前児童(N=218)



②利用したい年間日数

〈数量回答〉

《「利用したい」を選んだ方》

【就学前児童】 目的別の 利用日数	私用(買物、習い事等)のリフレッシュ目的 N=124		冠婚葬祭、子どもの保護者の通院 N=71		不定期の就労 N=60		その他 N=36	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1～3日	27	21.8	28	39.4	7	11.7	4
4～6日	28	22.6	22	31.0	9	15.0	6	16.7
7～9日	3	2.4	1	1.4	3	5.0	3	8.3
10～12日	40	32.3	10	14.1	13	21.7	10	27.8
13～15日	2	1.6	2	2.8	5	8.3	4	11.1
16～18日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
19日以上	20	16.1	5	7.0	19	31.7	5	13.9
不明・無回答	4	3.2	3	4.2	4	6.7	4	11.1

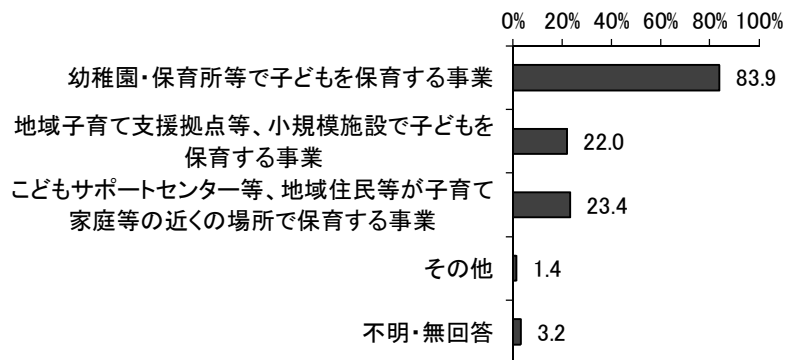
(2)で「利用したい」を選んだ方

(2) - 1 (2) ①の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態〈複数回答〉

[就学前児童調査…問 24-1]

利用したい方の子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「幼稚園・保育所等で子どもを保育する事業」が83.9%と最も高く、次いで「こどもサポートセンター等、地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が23.4%となっています。

就学前児童(N=218)

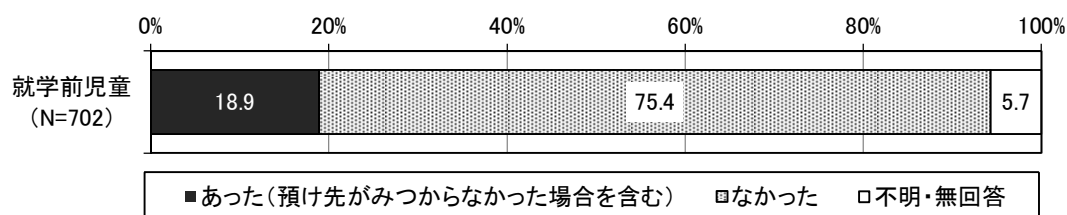




**(3) この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無〈単数回答〉**〔就学前児童調査…問 25〕

この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無についてみると、「あった（預け先がみつからなかった場合を含む）」が18.9%、「なかった」が75.4%となっています。

対処方法については、「（同居者を含む）親族・知人に預けた」が93.2%となっています。

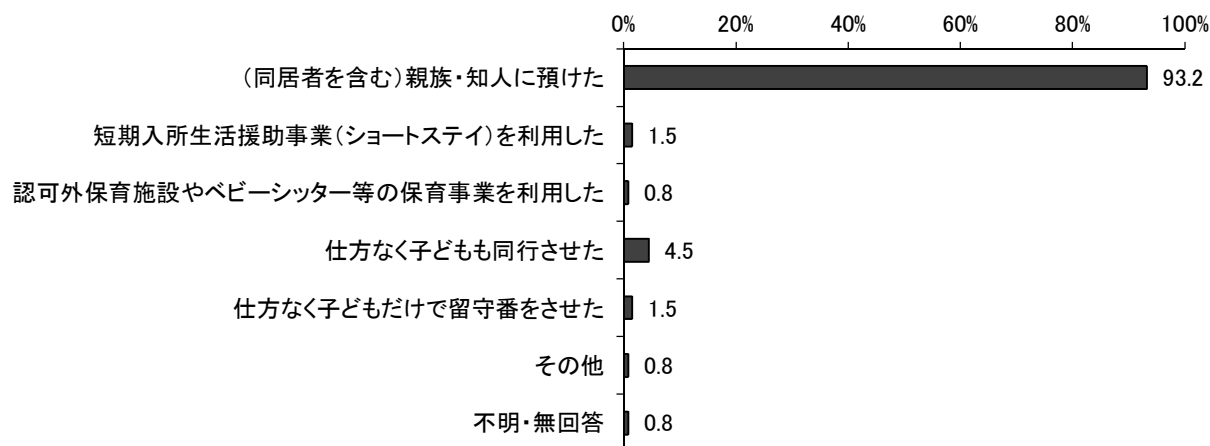


**(3) で「あった」を選んだ方**

**(3) - 1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数**〔就学前児童調査…問 25-1〕

**◎ 1年間の対処方法〈複数回答〉**

就学前児童(N=133)



◎それぞれの日数〈数量回答〉

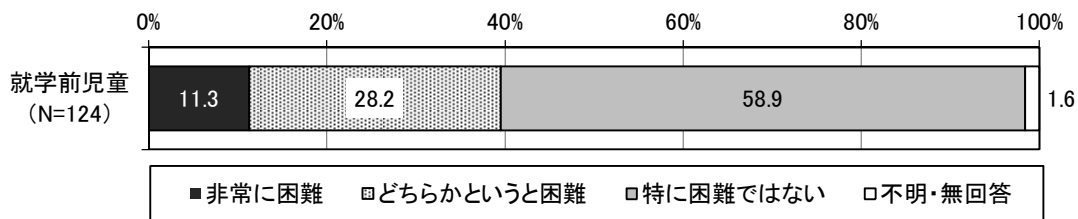
子どもを泊りがけで一時的に預けた際の泊数については、『(同居者を含む) 親族・知人に預けた』で、「1泊」の割合が高くなっています。

【就学前児童】 対処日数	にむ(同居者を含む) 親族・知人に預けた N=124		用ト助短 しス事期 たテ業入 イ(所 シ生 をヨ活 利 援		業タや認 を べ可 利等ビ外 用の 保育 し保シ育 た育ッ施 事 設		も仕 同方 行なく さく せ子 たども		さだ仕 せけ方 たでな 留く 守子 番ど をも		その他 N=1	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	38	30.6	0	0.0	0	0.0	2	33.3	0	0.0	0	0.0
2泊	24	19.4	1	50.0	1	100.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0
3泊	12	9.7	0	0.0	0	0.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0
4泊	4	3.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5泊	8	6.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0
6泊	3	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7泊以上	31	25.0	1	50.0	0	0.0	2	33.3	0	0.0	1	100.0
不明・無回答	4	3.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0

(3)-1で「親族・知人にみてもらった」を選んだ方

(3)-2 その場合の困難度〈単数回答〉 [就学前児童調査…問 25-2]

親族・知人にみてもらった場合の困難度についてみると、「特に困難ではない」が58.9%と最も高くなっています。

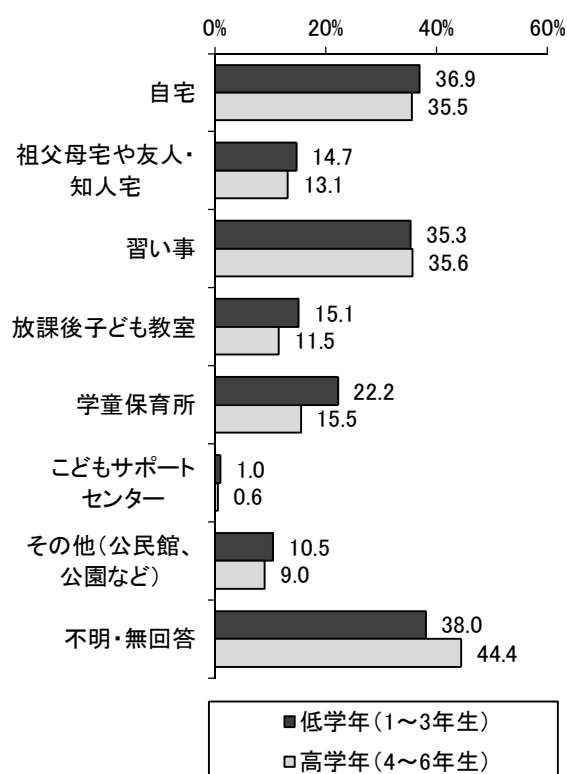


## 9 小学校就学後の放課後の過ごし方について

### (1) 小学生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 26〕

小学生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主に過ごさせたいと思う場所についてみると、『低学年（1～3年生）』では「自宅」が 36.9%、「習い事」が 35.3%とともに高く、『高学年（4～6年生）』でも「自宅」が 35.5%、「習い事」が 35.6%とともに高くなっています。

就学前児童 (N=702)



週当たりの利用希望日数については、『低学年（1～3年生）』『高学年（4～6年生）』ともに[自宅][学童保育所]で「5日」の割合が最も高くなっています。

また、学童保育所を選んだ方の利用希望時間では、『低学年（1～3年生）』『高学年（4～6年生）』ともに「18時」が最も高くなっています。

### ①週当たりの利用希望日数〈数量回答〉

#### ◎小学校低学年

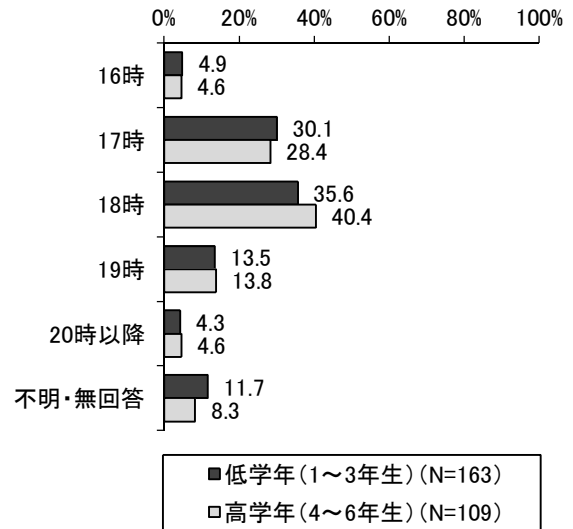
【就学前児童】 小学校低学年 週あたりの 利用希望日数	自宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		な ク 教 習 ど ラ 室 い （ ブ 、 事 学 ッ ピ 習 カ ア 塾 ノ		室 放 課 後 子 ど も 教		学 童 保 育 所		セ こ ん ど も タ サ ー ポ ー ト		館 そ 、 の 公 他 園 （ 公 民 ）	
	N=259		N=103		N=248		N=106		N=163		N=7		N=74	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	22	8.5	45	43.7	94	37.9	65	61.3	8	4.9	2	28.6	25	33.8
2日	46	17.8	35	34.0	108	43.5	13	12.3	6	3.7	0	0.0	21	28.4
3日	65	25.1	7	6.8	34	13.7	9	8.5	16	9.8	1	14.3	16	21.6
4日	29	11.2	3	2.9	5	2.0	1	0.9	8	4.9	0	0.0	4	5.4
5日	80	30.9	9	8.7	4	1.6	14	13.2	102	62.6	2	28.6	6	8.1
6日	5	1.9	2	1.9	0	0.0	1	0.9	12	7.4	2	28.6	0	0.0
7日	2	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	10	3.9	2	1.9	3	1.2	3	2.8	10	6.1	0	0.0	2	2.7

#### ◎小学校高学年

【就学前児童】 小学校高学年 週あたりの 利用希望日数	自宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		な ク 教 習 ど ラ 室 い （ ブ 、 事 学 ッ ピ 習 カ ア 塾 ノ		室 放 課 後 子 ど も 教		学 童 保 育 所		セ こ ん ど も タ サ ー ポ ー ト		館 そ 、 の 公 他 園 （ 公 民 ）	
	N=249		N=92		N=250		N=81		N=109		N=4		N=63	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	29	11.6	39	42.4	55	22.0	48	59.3	10	9.2	2	50.0	22	34.9
2日	54	21.7	32	34.8	97	38.8	12	14.8	4	3.7	0	0.0	17	27.0
3日	54	21.7	9	9.8	65	26.0	9	11.1	15	13.8	0	0.0	14	22.2
4日	21	8.4	1	1.1	19	7.6	0	0.0	4	3.7	0	0.0	2	3.2
5日	76	30.5	9	9.8	10	4.0	10	12.3	66	60.6	1	25.0	6	9.5
6日	6	2.4	1	1.1	1	0.4	1	1.2	8	7.3	0	0.0	0	0.0
7日	3	1.2	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0
不明・無回答	6	2.4	1	1.1	2	0.8	1	1.2	2	1.8	0	0.0	2	3.2

② 「学童保育所」の利用希望時間  
 (下校時から何時まで)〈数量回答〉  
 《「学童保育所」を選んだ方》

就学前児童

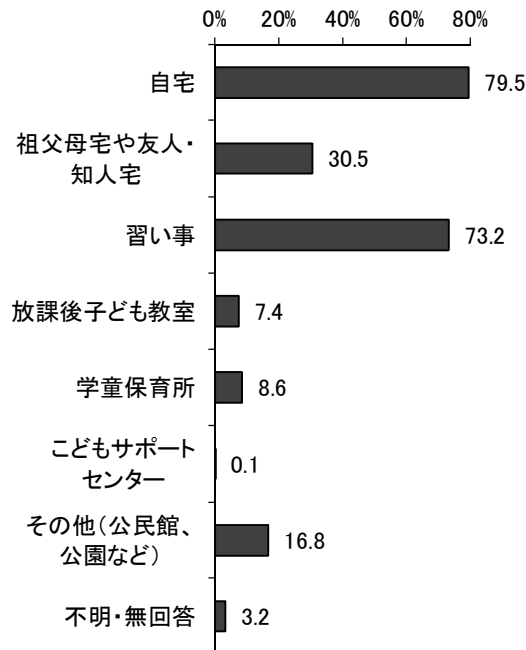


(2) お子さんの、放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方〈複数回答〉

[小学生児童調査…問14]

小学生児童の放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方についてみると、「自宅」が79.5%と最も高く、次いで「習い事」が73.2%となっています。

小学生児童(N=740)



週当たりの利用日数については、『自宅』『学童保育所』で「5日」の割合が最も高くなっています。また、『学童保育所』を選んだ方の利用時間では、「17時」が75.0%と最も高くなっています。

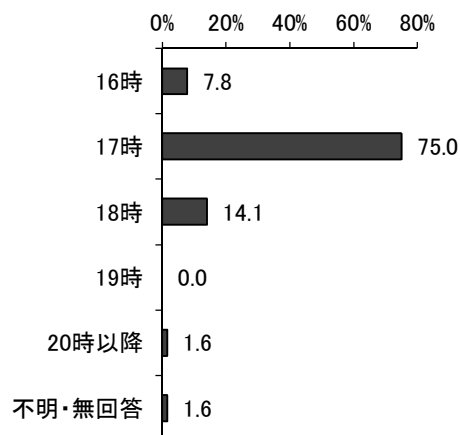
### ①週当たりの利用日数〈数量回答〉

【小学生児童】 週あたりの 利用日数	自宅 N=588		知人 住宅 N=226		習い事 教室 N=542		放課後 子ども 教室 N=55		学童 保育所 N=64		セ ン ト も サ ポ ー ト N=1		館 、 そ の 他 （ 公 民 ） N=124	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	99	16.8	109	48.2	98	18.1	54	98.2	0	0.0	1	100.0	51
2日	110	18.7	62	27.4	191	35.2	0	0.0	6	9.4	0	0.0	40	32.3
3日	121	20.6	31	13.7	121	22.3	0	0.0	7	10.9	0	0.0	13	10.5
4日	65	11.1	5	2.2	82	15.1	0	0.0	9	14.1	0	0.0	7	5.6
5日	145	24.7	12	5.3	25	4.6	0	0.0	39	60.9	0	0.0	8	6.5
6日	9	1.5	0	0.0	15	2.8	0	0.0	3	4.7	0	0.0	0	0.0
7日	25	4.3	2	0.9	5	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.6
不明・無回答	14	2.4	5	2.2	5	0.9	1	1.8	0	0.0	0	0.0	3	2.4

### ②「学童保育所」の利用時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

《「学童保育所」を選んだ方》

小学生児童(N=109)



(1)、(2)で「学童保育所」を選んだ方

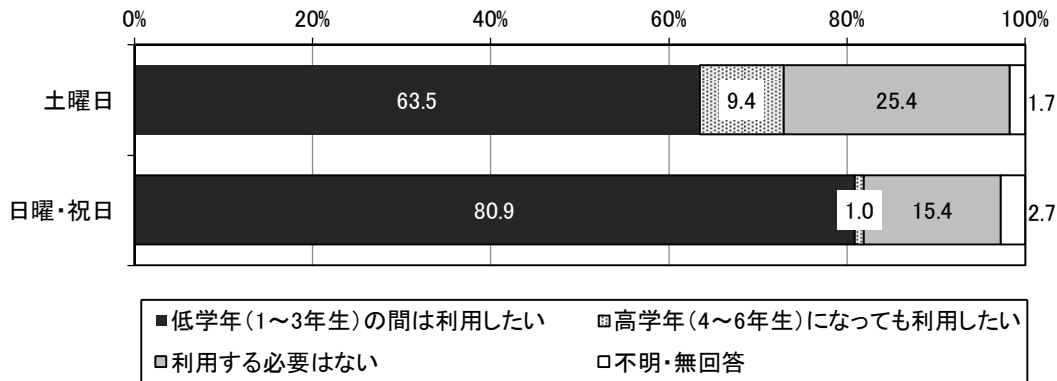
(3) 土曜日と日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 26-1、小学生児童調査…問 14-1〕

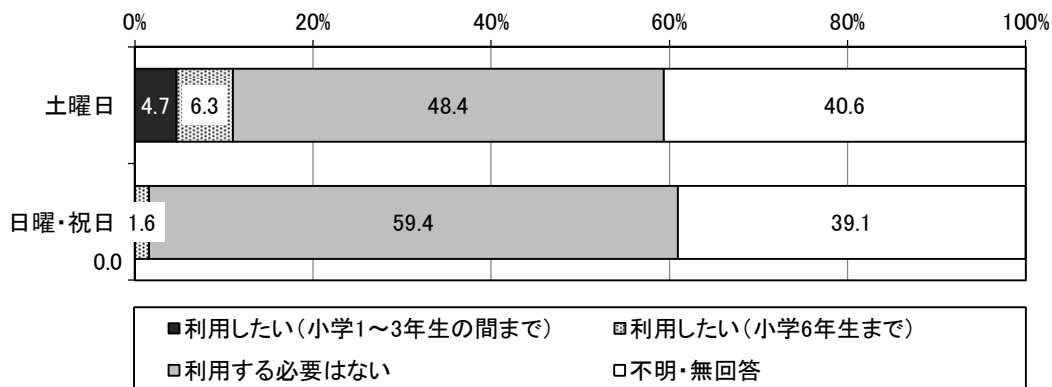
放課後児童クラブの、土曜日と日曜・祝日の利用希望についてみると、就学前児童では、土曜日、日曜・祝日ともに「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が最も高く、それぞれ63.5%、80.9%となっています。また、小学生児童では土曜日、日曜・祝日ともに「利用する必要はない」が最も高く、それぞれ48.4%、59.4%となっています。

希望する利用時間帯については、土曜日は利用開始時間が就学前児童、小学生児童ともに「8時」、利用終了時間が就学前児童が「18時」、小学生児童が「17時」となっており、日曜・祝日は就学前児童、小学生児童ともに利用開始時間が「9時」、利用終了時間が「18時」で高くなっています。

就学前児童(N=163)



小学生児童(N=64)



\*事業の利用には、一定の利用料がかかる

### ◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《就学前児童：「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」、小学生児童「利用したい（小学1～3年生の間まで）」、「利用したい（小学6年生まで）」を選んだ方》

【就学前児童】 利用開始 時間帯	土曜日		日曜・ 祝日	
	N=64		N=24	
	件数	%	件数	%
7時以前	9	14.1	5	20.8
8時	29	45.3	7	29.2
9時	15	23.4	9	37.5
10時	0	0.0	0	0.0
11時	0	0.0	0	0.0
12時	1	1.6	0	0.0
13時以降	5	7.8	0	0.0
不明・無回答	5	7.8	3	12.5

【就学前児童】 利用終了 時間帯	土曜日		日曜・ 祝日	
	N=64		N=24	
	件数	%	件数	%
15時以前	4	6.3	1	4.2
16時	9	14.1	1	4.2
17時	15	23.4	6	25.0
18時	19	29.7	7	29.2
19時	9	14.1	4	16.7
20時	3	4.7	2	8.3
21時以降	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	5	7.8	3	12.5

【小学生児童】 利用開始 時間帯	土曜日		日曜・ 祝日	
	N=7		N=1	
	件数	%	件数	%
7時以前	0	0.0	0	0.0
8時	6	85.7	0	0.0
9時	1	14.3	1	100.0
10時	0	0.0	0	0.0
11時	0	0.0	0	0.0
12時	0	0.0	0	0.0
13時以降	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0

【小学生児童】 利用終了 時間帯	土曜日		日曜・ 祝日	
	N=7		N=1	
	件数	%	件数	%
15時以前	0	0.0	0	0.0
16時	0	0.0	0	0.0
17時	4	57.1	1	100.0
18時	2	28.6	0	0.0
19時	0	0.0	0	0.0
20時	1	14.3	0	0.0
21時以降	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0

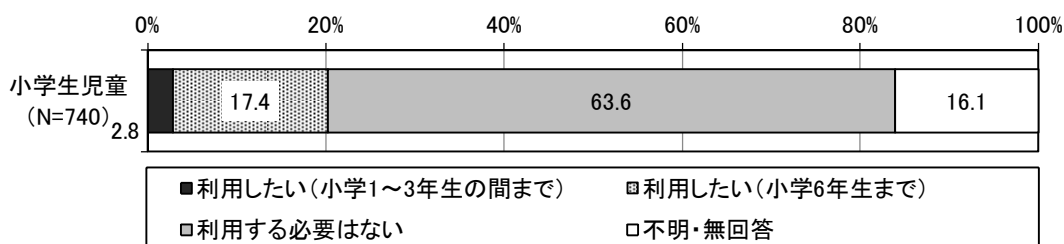
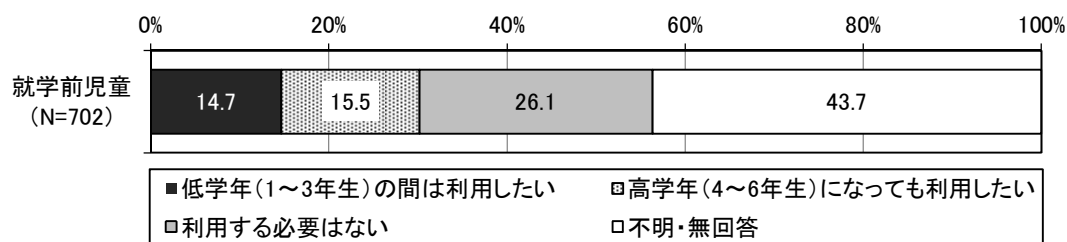


#### (4) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 27、小学生児童調査…問 15〕

長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望についてみると、就学前児童では「利用する必要はない」が 26.1%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 15.5%となっています。小学生児童では、「利用する必要はない」が 63.6%と最も高く、次いで「利用したい（小学6年生まで）」が 17.4%となっています。

希望する利用時間帯について、就学前児童では、開始時間が「8時」、終了時間が「18時」、小学生児童では、開始時間が「9時」、終了時間が「17時」がそれぞれ高くなっています。



\*事業の利用には、一定の利用料がかかる

#### ◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《就学前児童:「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」、小学生児童「利用したい（小学1～3年生の間まで）」、「利用したい（小学6年生まで）」を選んだ方》

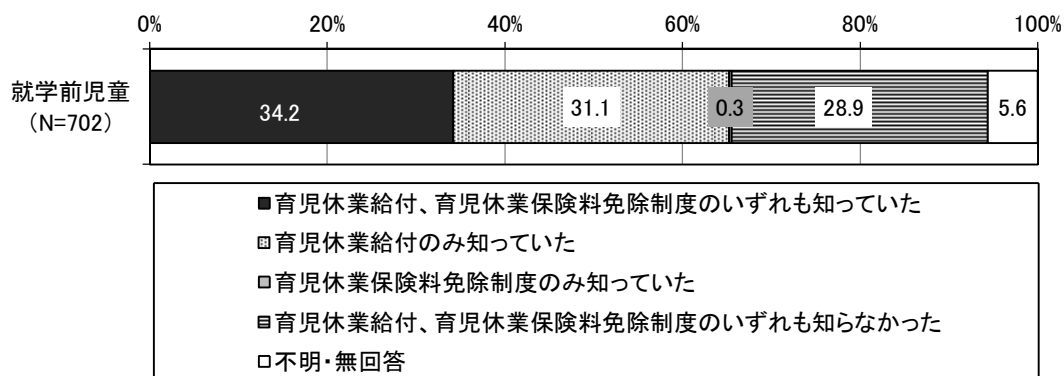
【就学前児童】 利用開始 時間帯	のみ夏 休な休 暇どみ 期の・ 間長冬 中期休 N=212		【就学前児童】 利用終了 時間帯	のみ夏 休な休 暇どみ 期の・ 間長冬 中期休 N=212	
	件数	%		件数	%
7時以前	16	7.5	15時以前	22	10.3
8時	104	49.1	16時	26	12.3
9時	84	39.6	17時	65	30.7
10時	2	0.9	18時	66	31.1
11時	0	0.0	19時	22	10.4
12時	0	0.0	20時	7	3.3
13時以降	3	1.4	21時以降	1	0.5
不明・無回答	3	1.4	不明・無回答	3	1.4

【小学生児童】 利用開始 時間帯	のみ夏 休な休 暇どみ 期の・ 間長冬 中期休 N=150		【小学生児童】 利用終了 時間帯	のみ夏 休な休 暇どみ 期の・ 間長冬 中期休 N=150	
	件数	%		件数	%
7時以前	6	4.0	15時以前	27	18.0
8時	61	40.7	16時	12	8.0
9時	75	50.0	17時	53	35.3
10時	1	0.7	18時	43	28.7
11時	0	0.0	19時	8	5.3
12時	0	0.0	20時	1	0.7
13時以降	1	0.7	21時以降	0	0.0
不明・無回答	6	4.0	不明・無回答	6	4.0

## 10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について（就学前児童）

### （１）育児休業給付や育児休業保険料免除制度の認知度〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 28〕

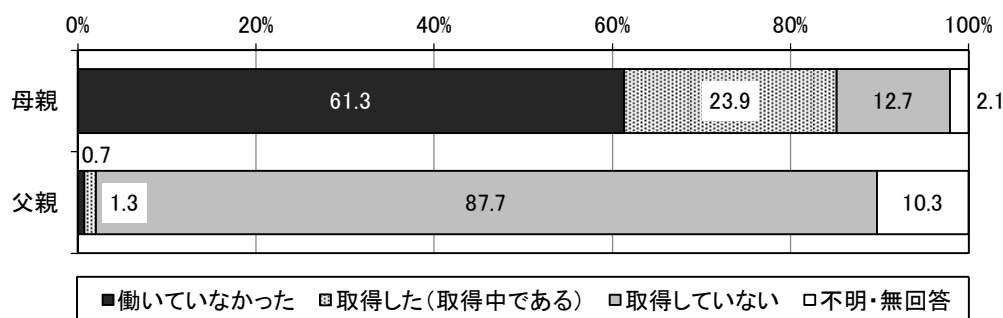
育児休業給付等の認知度についてみると、「育児休業給付、育児休業保険料免除制度のいずれも知っていた」が 34.2%と高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が 31.1%となっています。一方、「育児休業給付、育児休業保険料免除制度のいずれも知らなかった」は 28.9%となっています。



### （２）子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 29〕

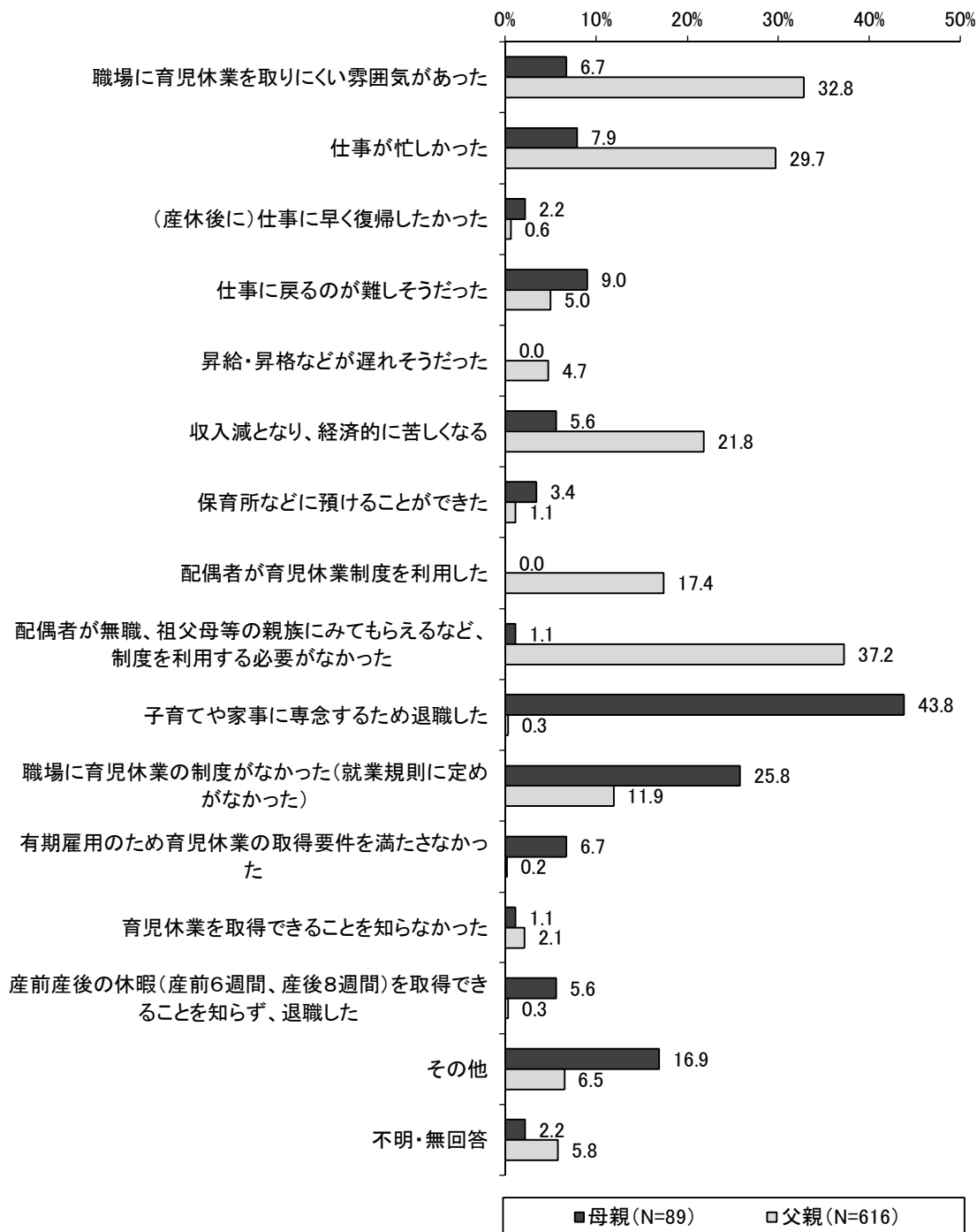
子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況についてみると、母親では「働いていなかった」が 61.3%、父親では「取得していない」が 87.7%と、それぞれ最も高くなっています。また、母親の「取得した（取得中である）」が 23.9%、父親では 1.3%となっています。

就学前児童 (N=702)



育児休業を取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が43.8%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が25.8%となっています。父親では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が37.2%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が32.8%となっています。

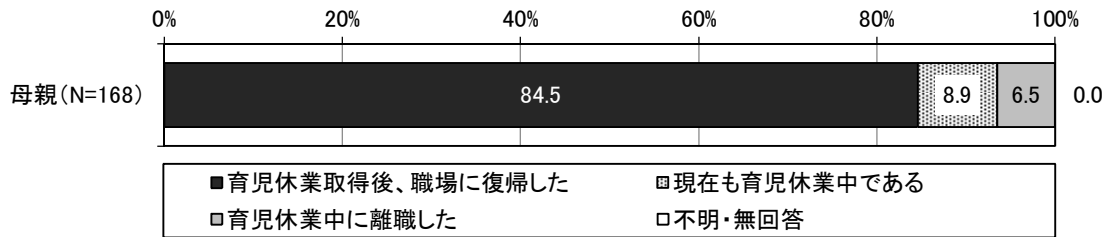
◎取得していない理由〈複数回答〉《「取得していない」を選んだ方》



(2)で「取得した(取得中である)」を選んだ方

(2) - 1 育児休業取得後、職場に復帰したか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問29-1〕

育児休業取得後、職場に復帰したかについてみると、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が84.5%と大部分を占めています。

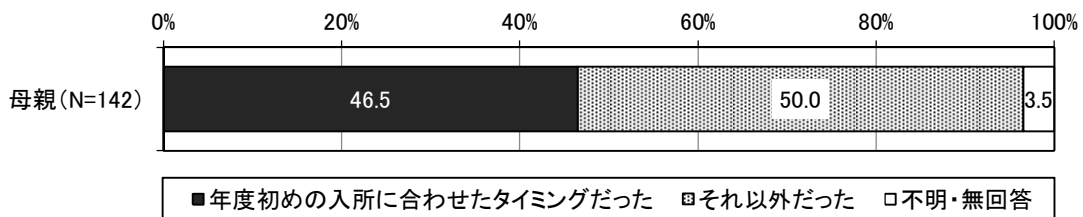


【父親】 職場への復帰状況	就学前児童 N=9	
	件数	%
育児休業取得後、職場に復帰した	8	88.9
現在も育児休業中である	0	0.0
育児休業中に離職した	0	0.0
不明・無回答	1	11.1

(2) - 1で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

(2) - 2 職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問29-2〕

職場復帰の時期が、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングかについてみると、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が46.5%、「それ以外だった」が50.0%となっています。

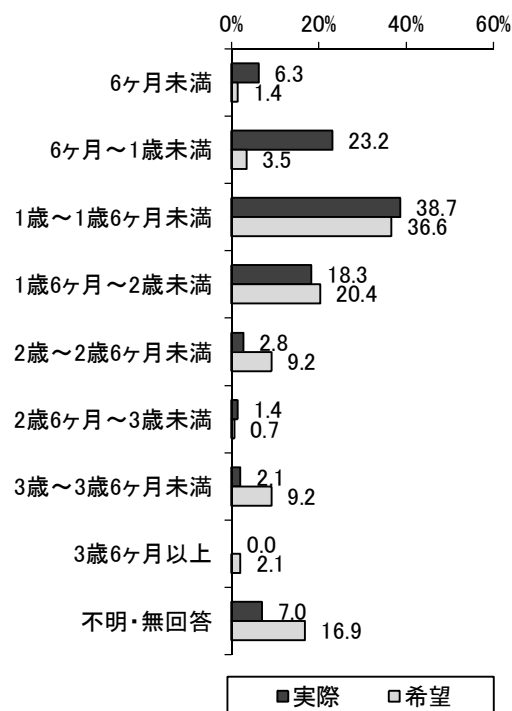


【父親】 育児休業復帰のタイミング	就学前児童 N=8	
	件数	%
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1	12.5
それ以外だった	5	62.5
不明・無回答	2	25.0

**(2) - 3 育児休業からは、「実際」に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したか。また、勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取得したかったか〈数量回答〉**〔就学前児童調査…問 29-3〕

育児休業から、実際に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したかについてみると、母親では「1歳～1歳6ヶ月未満」が38.7%と最も高くなっています。また、希望としても「1歳～1歳6ヶ月未満」が36.6%と最も高くなっています。

【母親】(N=142)



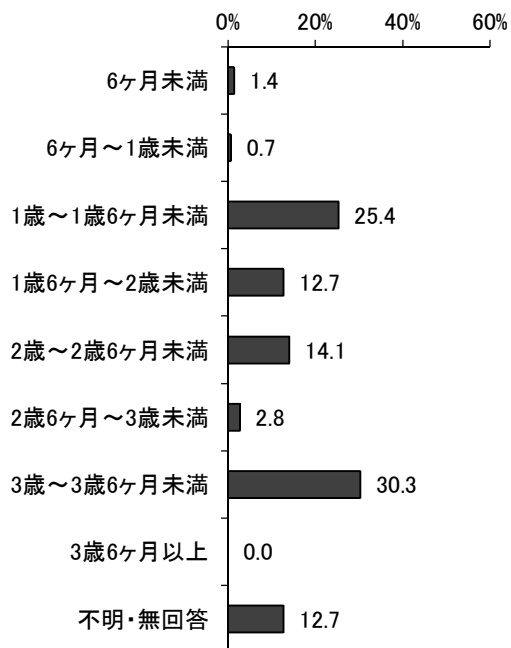
【父親】 育児休業 取得期間	実際 N=8		希望 N=8	
	件数	%	件数	%
6ヶ月未満	4	50.0	3	37.5
6ヶ月～1歳未満	1	12.5	1	12.5
1歳～1歳6ヶ月未満	0	0.0	0	0.0
1歳6ヶ月～2歳未満	1	12.5	1	12.5
2歳～2歳6ヶ月未満	1	12.5	1	12.5
2歳6ヶ月～3歳未満	0	0.0	0	0.0
3歳～3歳6ヶ月未満	0	0.0	0	0.0
3歳6ヶ月以上	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	12.5	2	25.0

**(2) - 4 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」として子どもが何歳何ヶ月のときまで取得したかったか〈数量回答〉**

〔就学前児童調査…問 29-4〕

職場に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に、子どもが何歳何ヶ月のときまで取得したかったかについてみると、母親では「3歳～3歳6ヶ月未満」が30.3%と最も高くなっています。

【母親】(N=142)



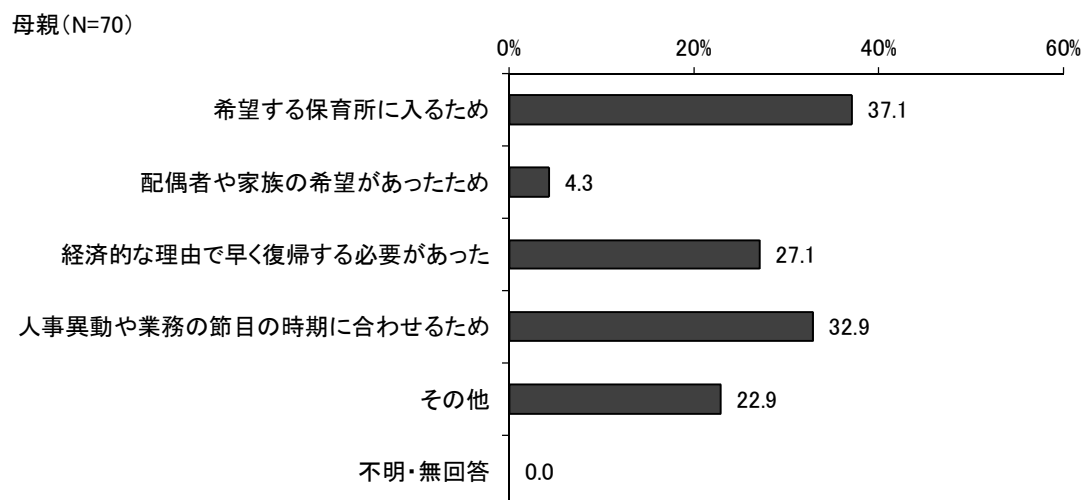
【父親】 育児休業を取得 したかった子ども年齢	就学前児童 N=8	
	件数	%
6ヶ月未満	1	12.5
6ヶ月～1歳未満	0	0.0
1歳～1歳6ヶ月未満	0	0.0
1歳6ヶ月～2歳未満	0	0.0
2歳～2歳6ヶ月未満	1	12.5
2歳6ヶ月～3歳未満	0	0.0
3歳～3歳6ヶ月未満	0	0.0
3歳6ヶ月以上	0	0.0
不明・無回答	6	75.0

## (2) - 3で実際の復帰と希望が異なる方

### (2) - 5 希望の時期に職場復帰しなかった理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 29-5〕

育児休業期間の実際と希望が異なる方の、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてみると、母親で『希望』より早く復帰した方では「希望する保育所に入るため」が37.1%と最も高くなっています。また、『希望』より遅く復帰した方では「希望する保育所に入れなかったため」が4件となっています。

#### ①「希望」より早く復帰した方



#### ②「希望」より遅く復帰した方

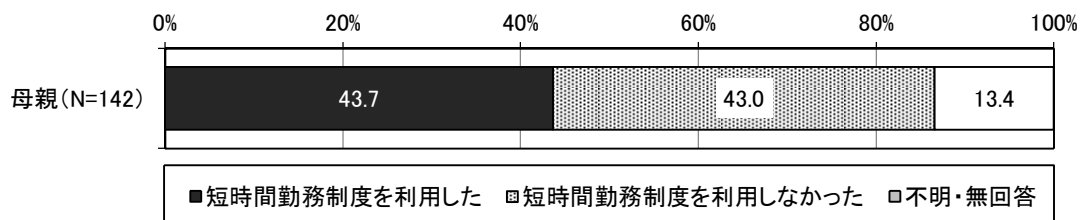
【母親】 「希望」より遅く復帰した方	就学前児童 (N=10)	
	件数	%
希望する保育所に入れなかったため	4	40.0
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	3	30.0
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0
子どもをみってくれる人がいなかったため	0	0.0
その他	1	10.0
不明・無回答	2	20.0

※【父親】実際の復帰と希望が異なる方はいませんでした。



**(2) - 6 職場復帰時の短期勤務制度の利用状況〈単数回答〉**〔就学前児童調査…問 29-6〕

短期勤務制度の利用状況についてみると、母親では「短時間勤務制度を利用した」が43.7%、「短時間勤務制度を利用しなかった」が43.0%となっています。

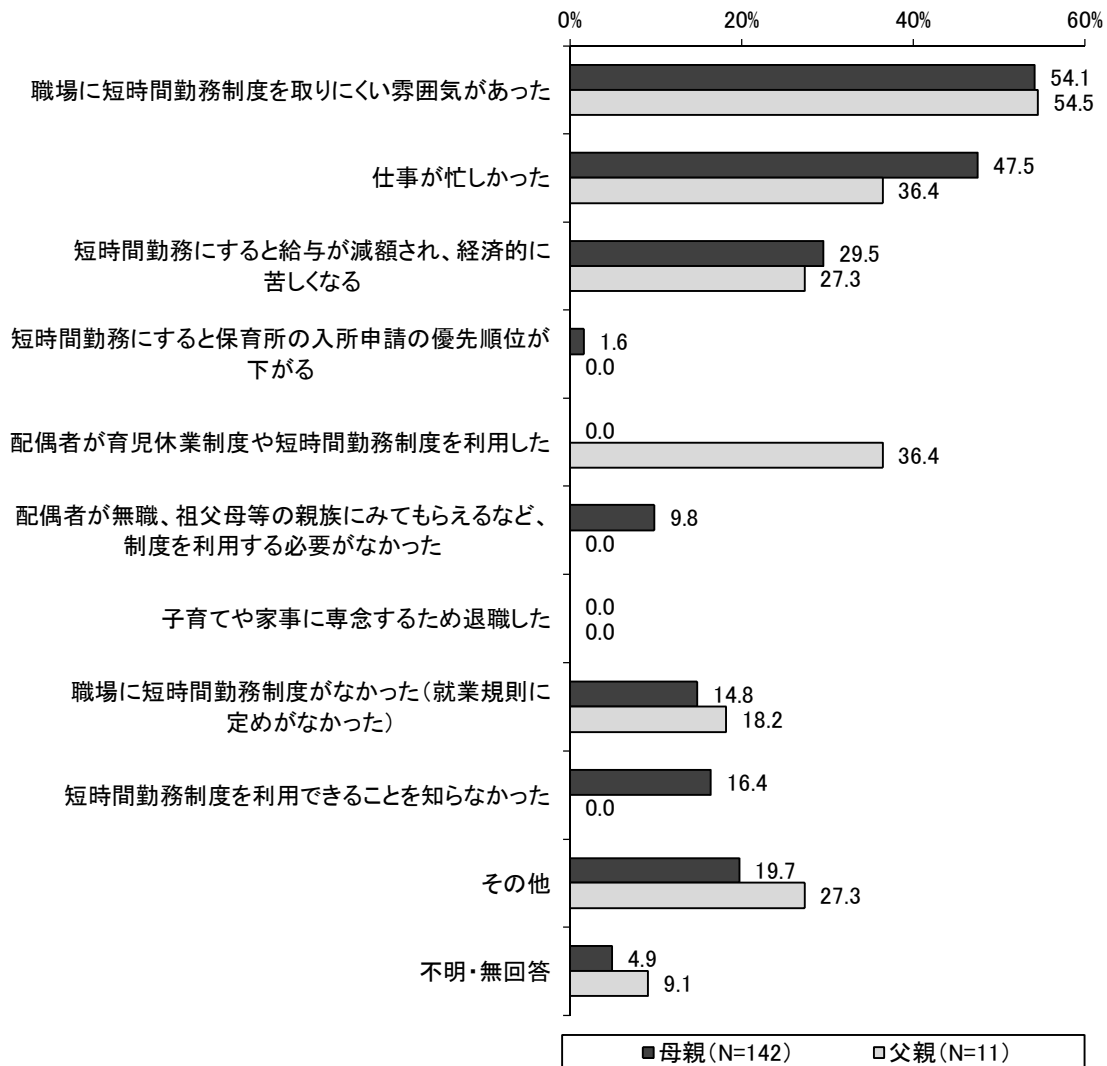


【父親】 育児休業復帰のタイミング	就学前児童 N=8	
	件数	%
短時間勤務制度を利用した	1	12.5
短時間勤務制度を利用しなかった	5	62.5
不明・無回答	2	25.0

(2) - 6で「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」を選んだ方

(2) - 7 短時間勤務制度を利用しなかった理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 29-7〕

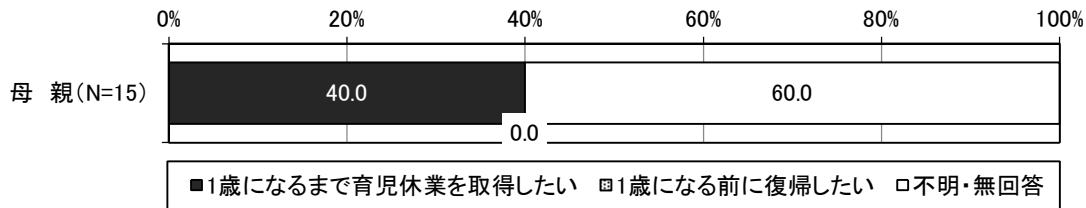
短期勤務制度を利用しなかった理由についてみると、母親、父親ともに「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が最も高く、それぞれ54.1%、54.5%となっています。次いで母親では「仕事が忙しかった」が47.5%、父親では「仕事が忙しかった」「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」が36.4%となっています。



(2) - 1で「現在も育児休業中である」を選んだ方

(2) - 8 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 29-8〕

現在も育児休業中の方で、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについてみると、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が40.0%となっています。

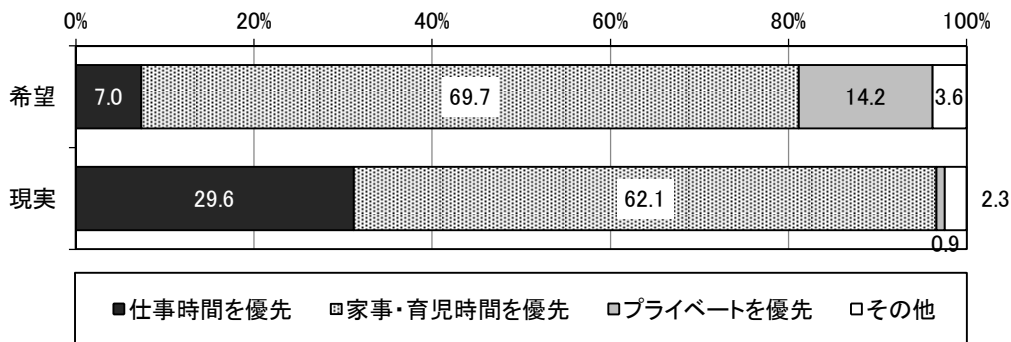


※【父親】現在も育児休業中である方はいませんでした。

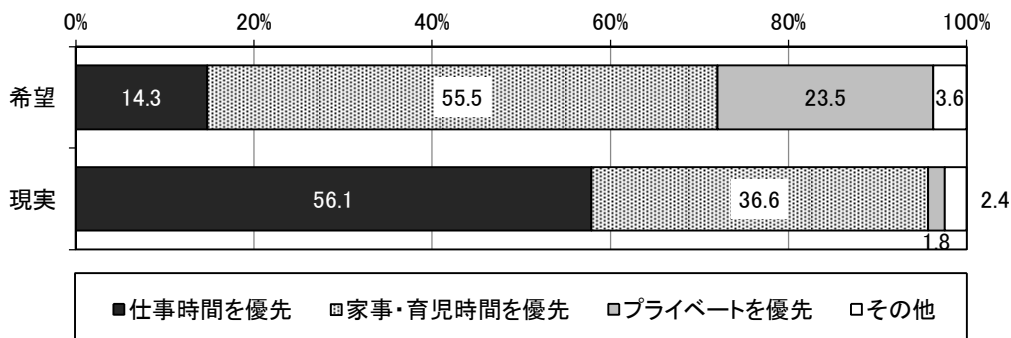
(3) 「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についての希望と現実〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 30、小学生児童調査…問 13〕

「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についての希望と現実についてみると、就学前児童では、『希望』『現実』ともに「家事・育児時間を優先」が最も高くなっています。小学生児童については、『希望』は「家事・育児時間を優先」が最も高くなっているのに対し、『現実』は「仕事時間を優先」が最も高くなっています。

就学前児童 (N=702)



小学生 (N=740)



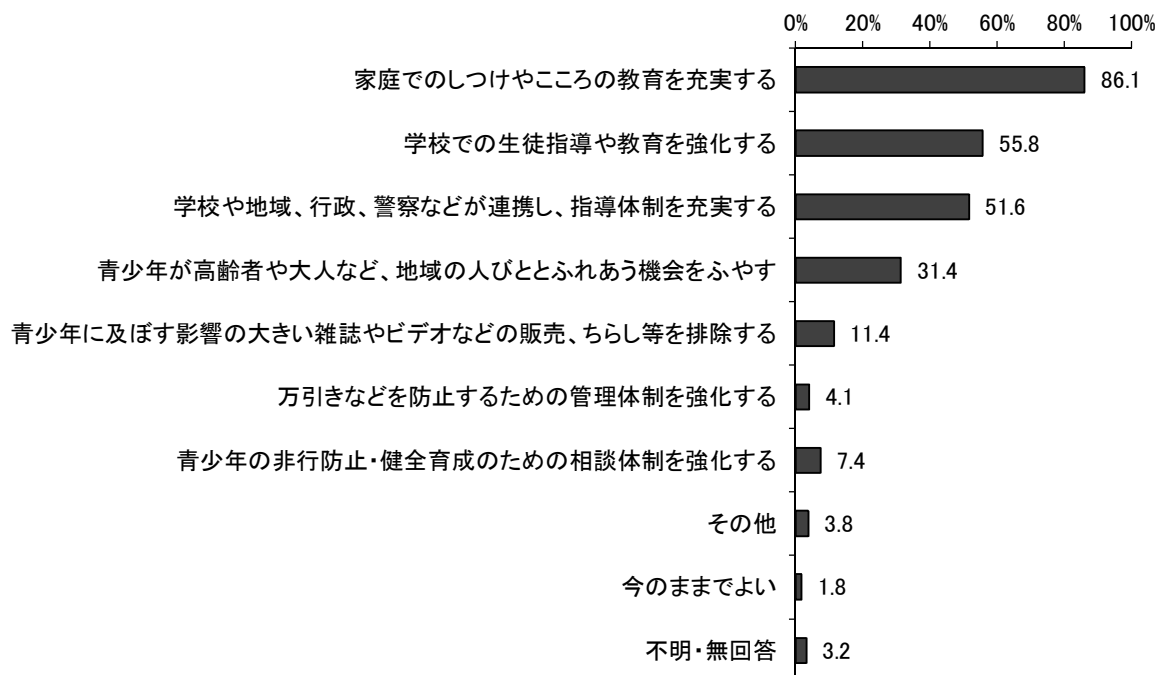
## 11 子どもの安全の確保について（小学生児童）

### （1）子どもの健全育成や非行防止のために、力をいれるべきと思うこと〈複数回答〉

〔小学生児童調査…問 16〕

子どもの健全育成や非行防止のために、力をいれるべきと思うことについては、「家庭でのしつけやこころの教育を充実する」が 86.1%と最も高く、次いで「学校での生徒指導や教育を強化する」が 55.8%、「学校や地域、行政、警察などが連携し、指導体制を充実する」が 51.6%となっています。

小学生 (N=740)

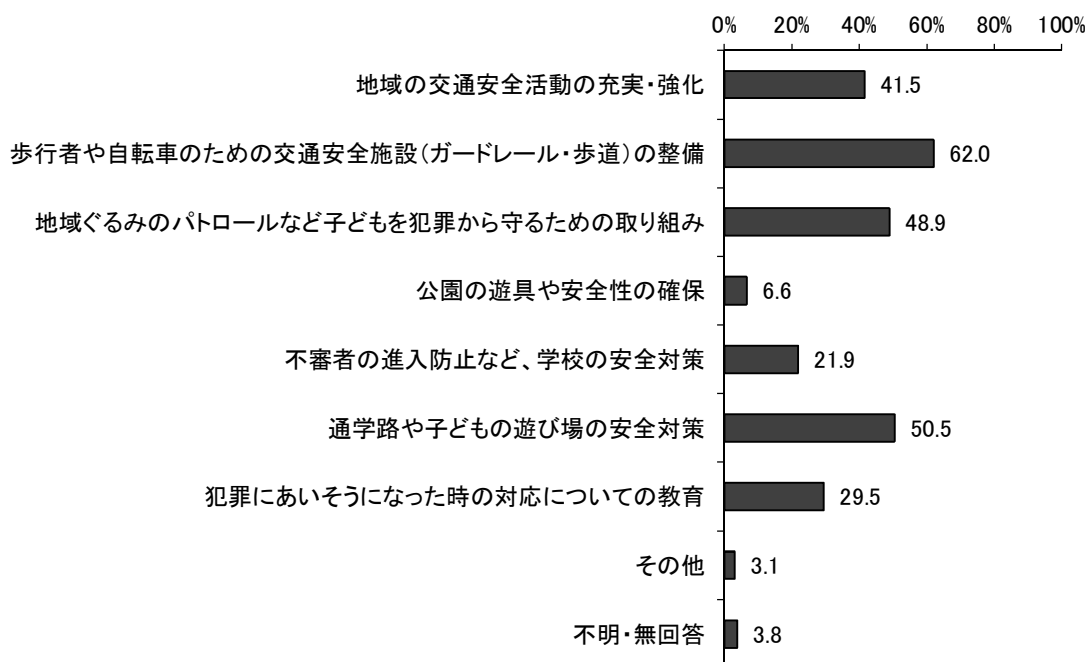


## (2) 子どもの安全を守るために、特に重要と思われること〈複数回答〉

〔小学生児童調査…問17〕

子どもの安全を守るために、特に重要と思われること居住についてみると、「歩行者や自転車のための交通安全施設（ガードレール・歩道）の整備」が62.0%と最も高く、次いで「通学路や子どもの遊び場の安全対策」が50.5%、「地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪から守るための取り組み」が48.9%となっています。

小学生(N=740)

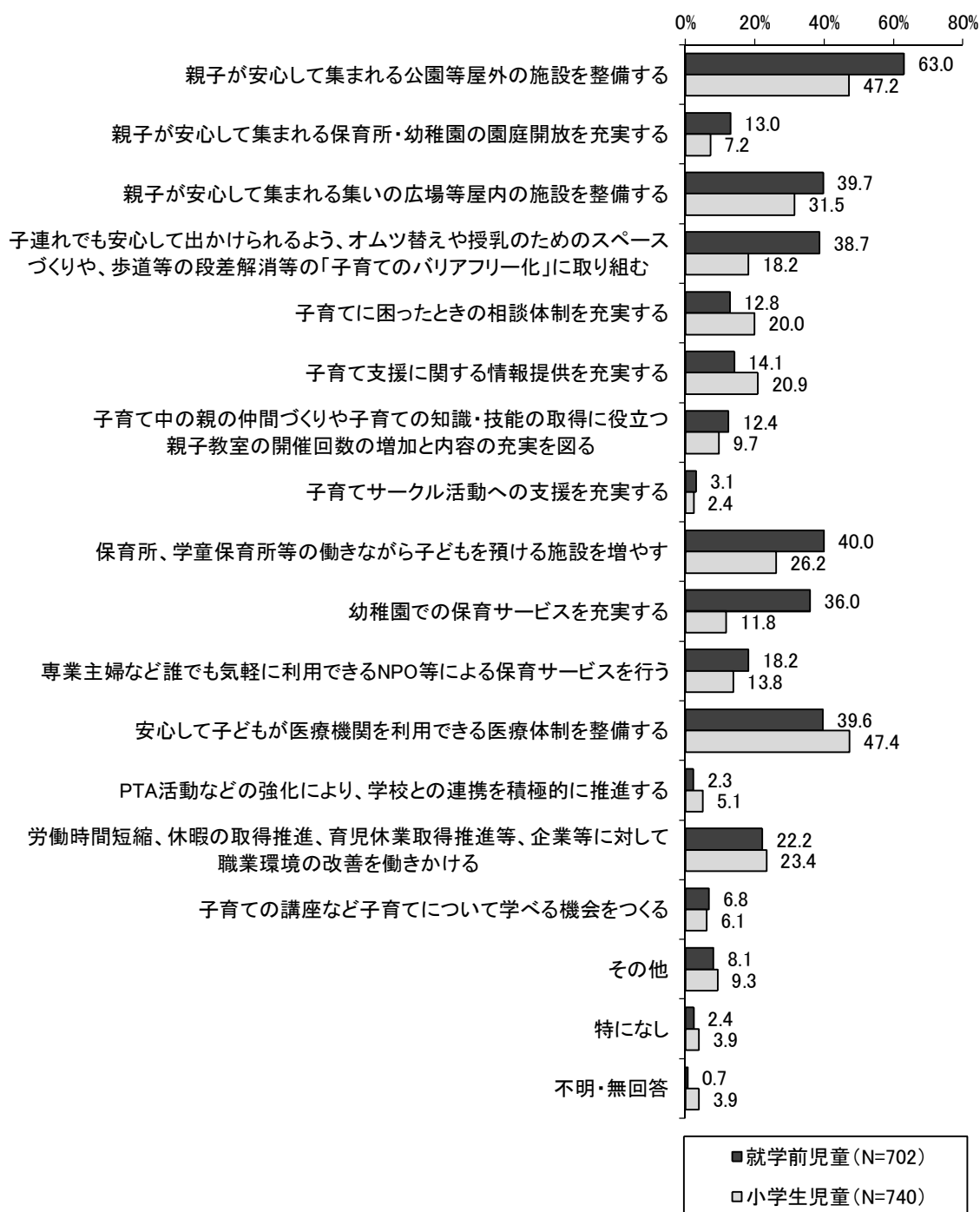


## 12 大和郡山市での子育てや子育て支援サービスについて

### (1) 大和郡山市に対して期待する子育て支援策〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 31、小学生児童調査…問 18〕

就学前児童については、「親子が安心して集まれる公園等屋外の施設を整備する」が63.0%と最も高く、次いで「保育所、学童保育所等の働きながら子どもを預ける施設を増やす」が40.0%となっています。小学生児童については、「安心して子どもが医療機関を利用できる医療体制を整備する」が47.4%と最も高く、次いで「親子が安心して集まれる公園等屋外の施設を整備する」が47.2%となっています。

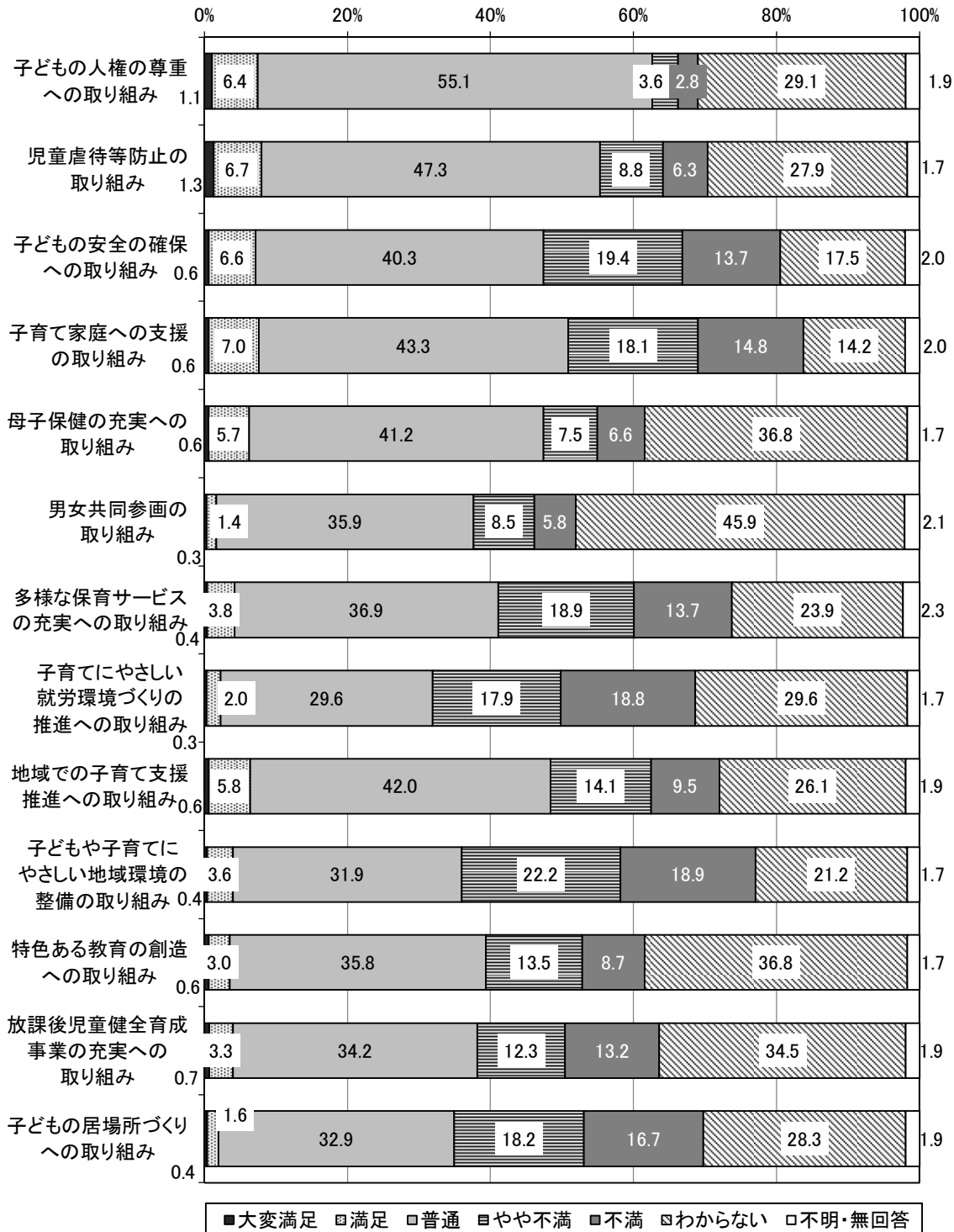


## (2) 行政の取り組みに対して感じること〈単数回答〉

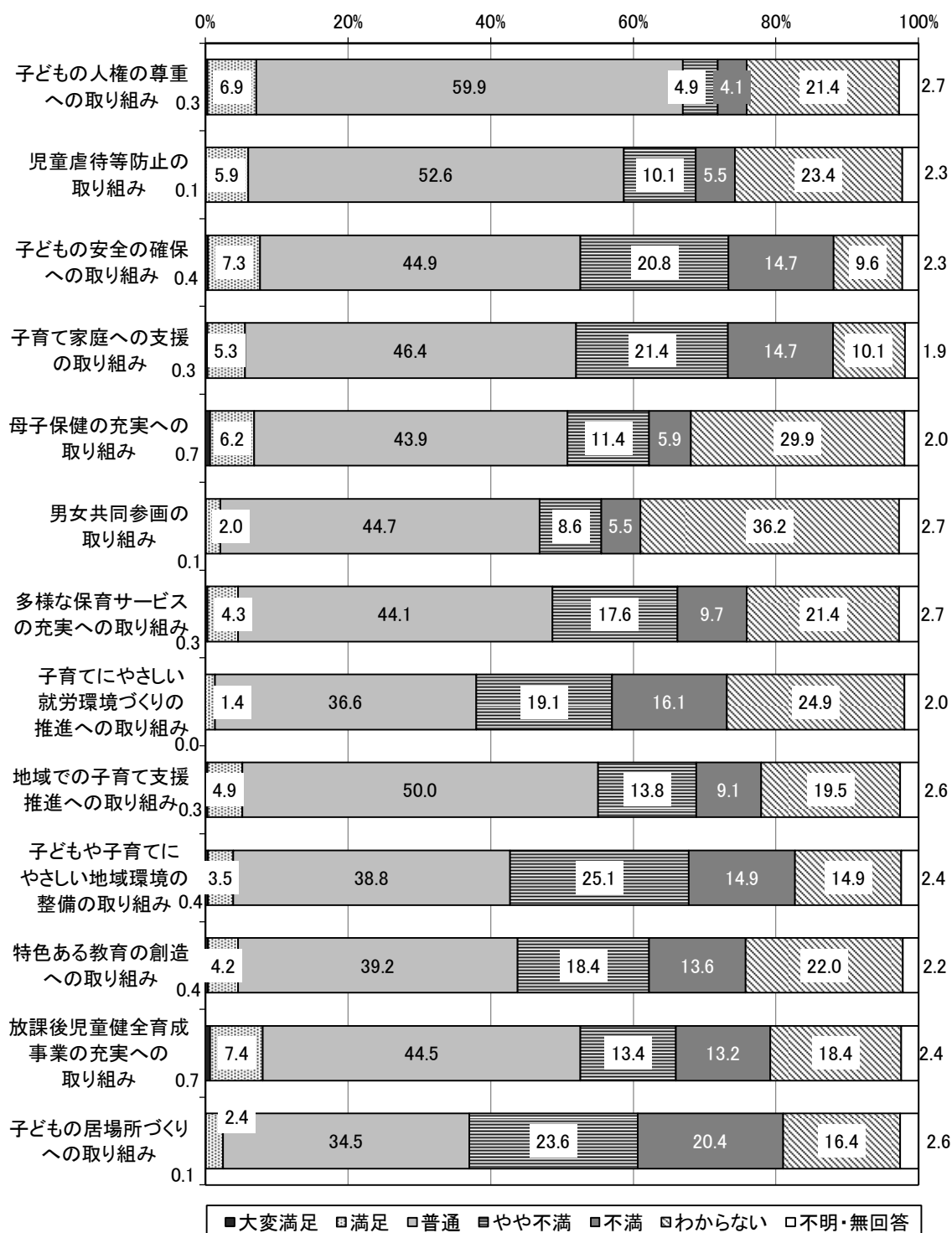
〔就学前児童調査…問 32、小学生児童調査…問 19〕

行政の取り組みに対して感じることについてみると、就学前児童では、『大変満足』『満足』を合わせた『満足』は「児童虐待等防止の取り組み」で8.0%と最も高く、次いで「子育て家庭への支援の取り組み」が7.6%となっています。小学生児童では、『大変満足』『満足』を合わせた『満足』は「放課後児童健全育成事業の充実への取り組み」で8.1%と最も高く、次いで「子どもの安全の確保への取り組み」が7.7%となっています。

就学前児童(N=702)



小学生 (N=740)

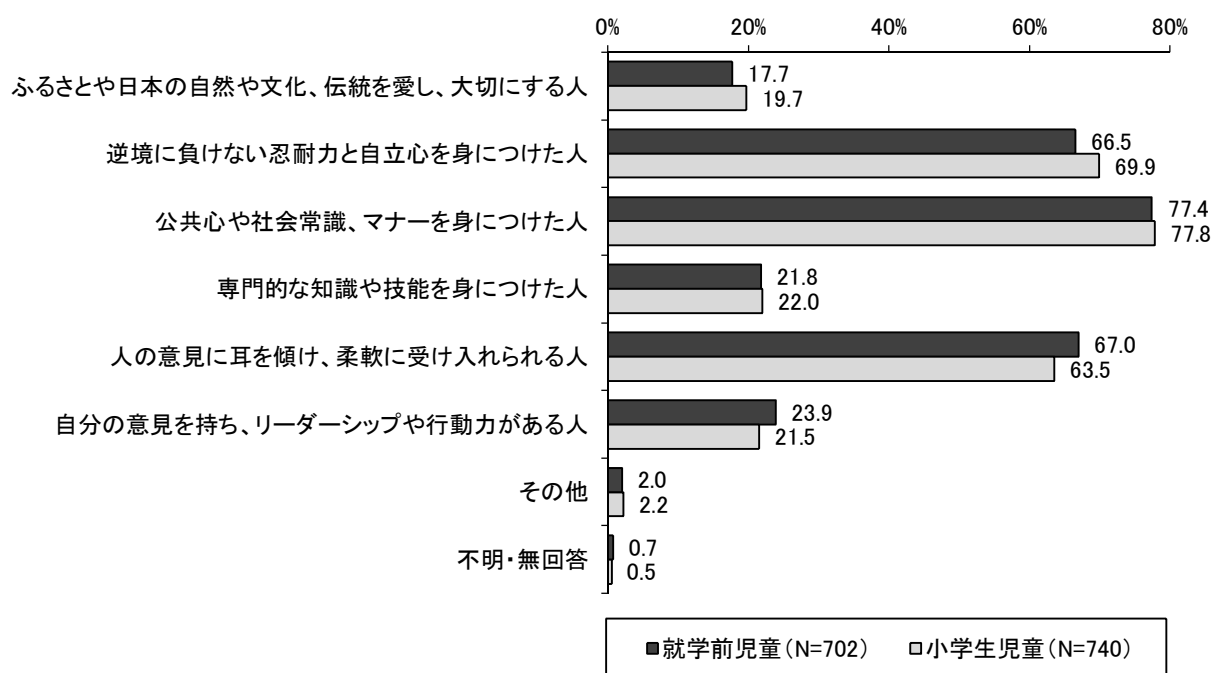




### (3) 将来、お子さんにどのような人に育ってほしいと思うか〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 33、小学生児童調査…問 20〕

将来、お子さんにどのような人に育ってほしいと思うかについては、就学前児童、小学生児童ともに、「公共心や社会常識、マナーを身につけた人」が最も高く、それぞれ 77.4%、77.8%となっています。次いで就学前児童では、「人の意見に耳を傾け、柔軟に受け入れられる人」が67.0%、小学生児童では、「逆境に負けない忍耐力と自立心を身につけた人」が69.9%となっています。



### (4) これからもお子さんに大和郡山で育ってほしいと思うか。〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 34、小学生児童調査…問 21〕

これからもお子さんに大和郡山市で育ってほしいと思うかについてみると、就学前児童、小学生児童ともに、「そう思う」が最も高く、それぞれ 34.0%、33.4%となっています。次いで「どちらかというと思う」がそれぞれ 33.6%、31.4%となっています。

